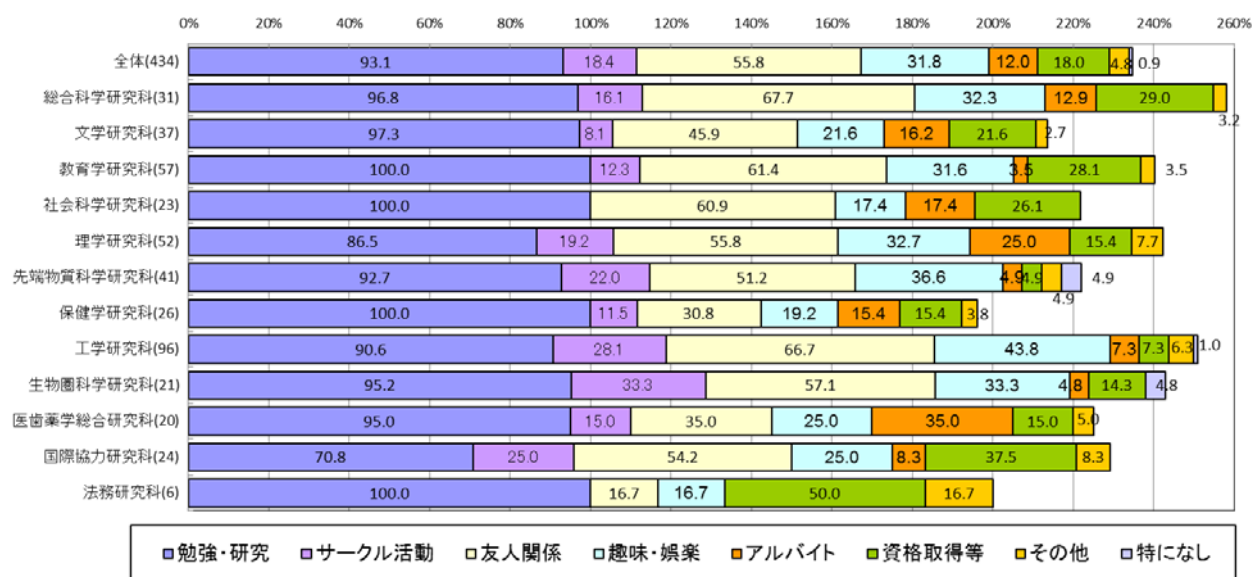


大 学 院

1 大学生活において大切にしているもの

8個の選択肢のうち、全体では多かった項目として勉強・研究（93.1%）と友人関係（55.8%）であった。これらは、各研究科とも同様の傾向であり、大学院生が学部生と比較して勉強・研究を大切にしていることを示している。サークル活動（18.4%）、アルバイト（12%）、資格取得等（18%）の項目を選択した大学院生は少なかった。

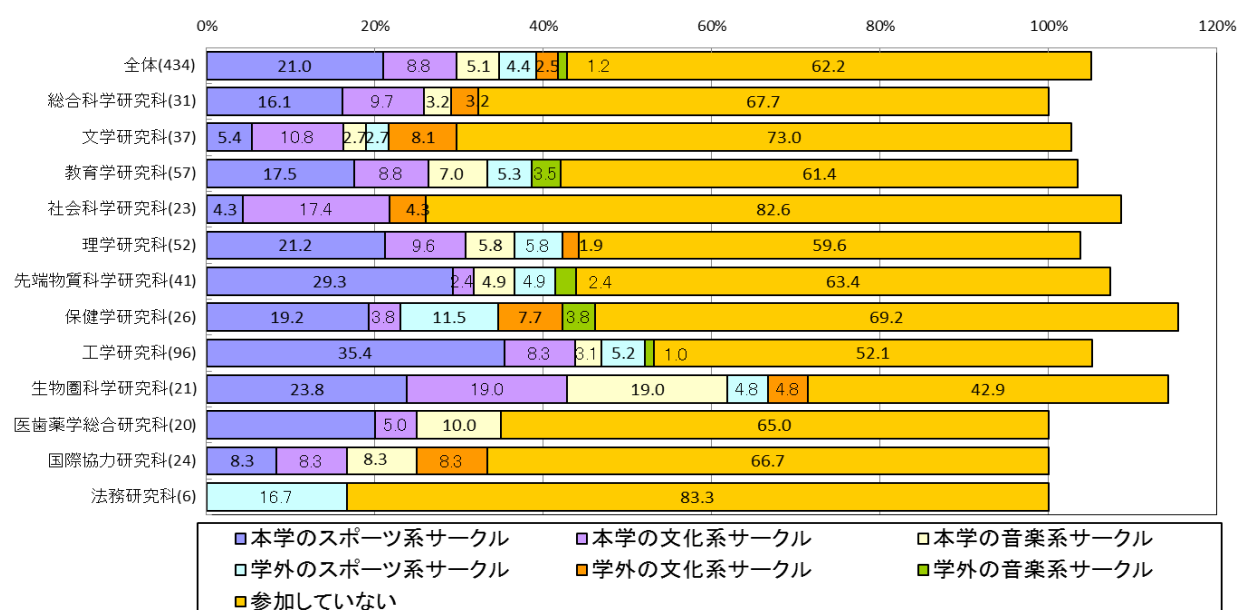
問1 大学生活においてに何を大切にしていますか。（複数回答可）



2 学内外のクラブ・サークル活動への参加

学内外のクラブ・サークル活動に参加している大学院生は全体で 42.9%であり、学部生（69.4%）に比べ少なかった。この結果は、前回の調査結果とほぼ同様であった。

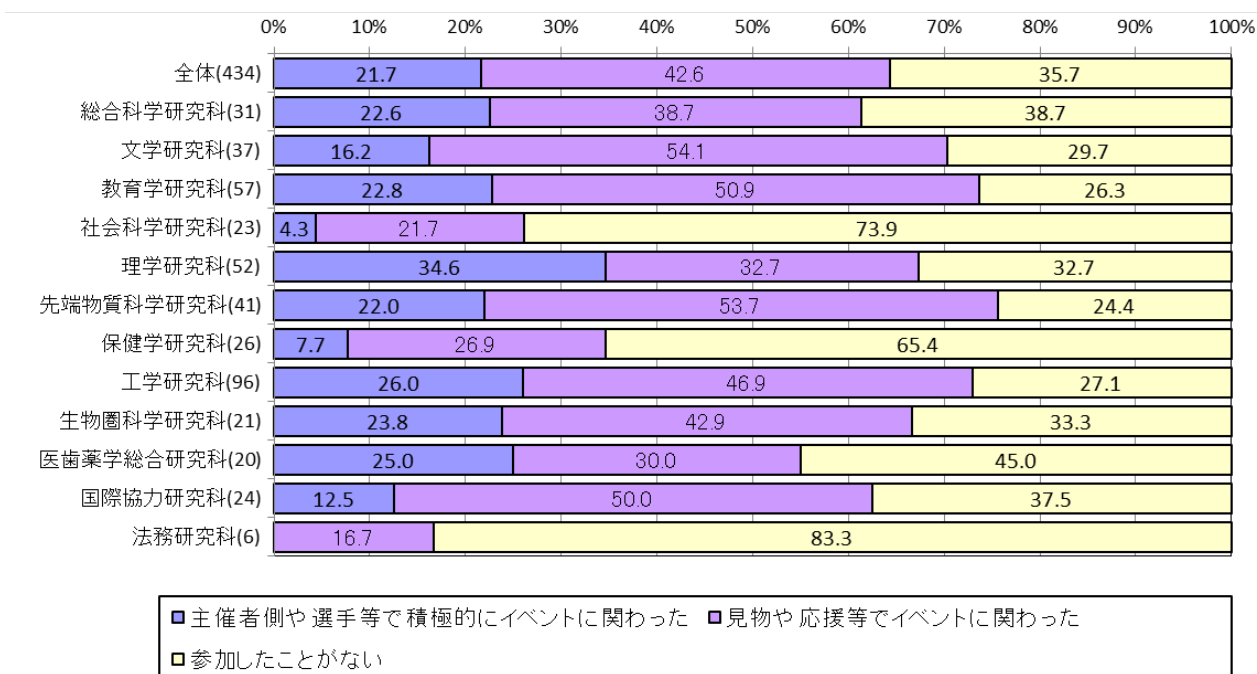
問2 学内外のクラブやサークル活動に参加していますか。（複数回答可）



3 大学の行事への参加

全体として、主催者などで積極的に関わった大学院生は 21.7%、見物やイベントに参加した大学院生は 42.6%であり、約 6 割の大学院生が大学行事に関わっていた。これらのことは、大学院生も大学行事への関心が高いことを示している。また、「参加したことがない」と答えた大学院生の割合が高かった研究科もあったが、サンプル数が少なかったため、この傾向は明らかではない。

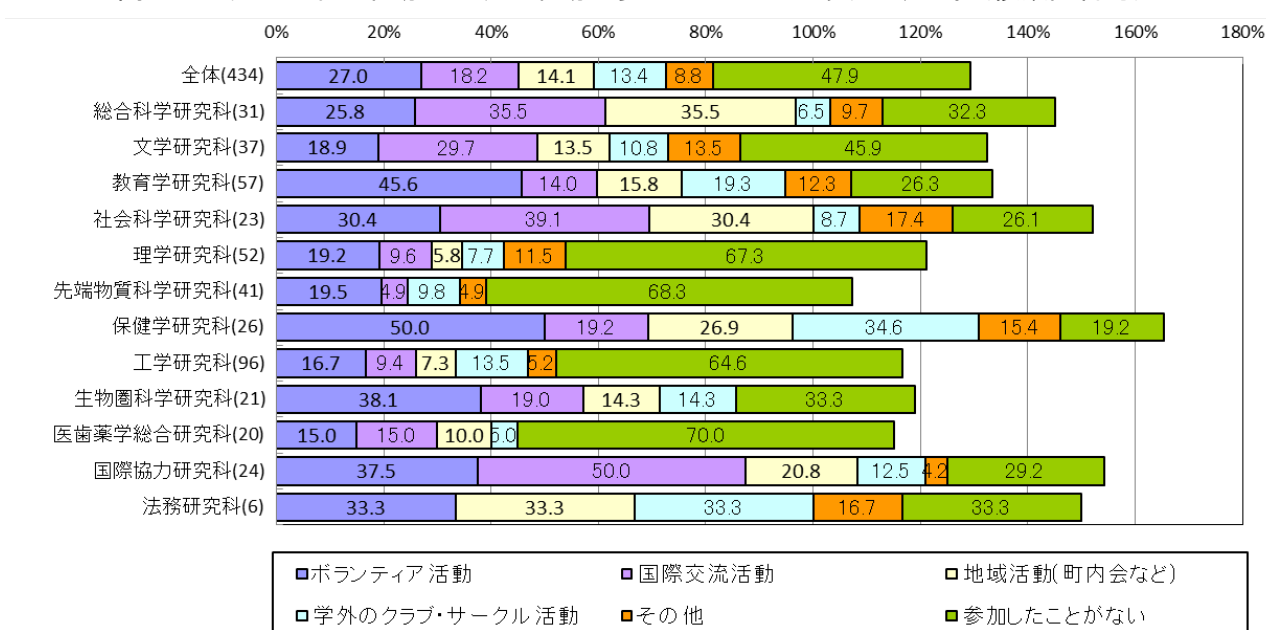
問3 大学祭、ゆかた祭、フェニックス駅伝などの大学の行事に参加したことがありますか。



4 ボランティアや地域活動への参加

全体として、「参加したことがない」と答えた大学院生の割合が高かったが、教育学研究科 (45.6%) と保健学研究科 (50.0%) のボランティア活動への参加は高い値となった。また、国際協力研究科ではボランティア活動と国際交流活動を合わせると高い値となった (87.5%)。

問4 ボランティア活動や地域の活動に参加したことがありますか。(複数回答可)

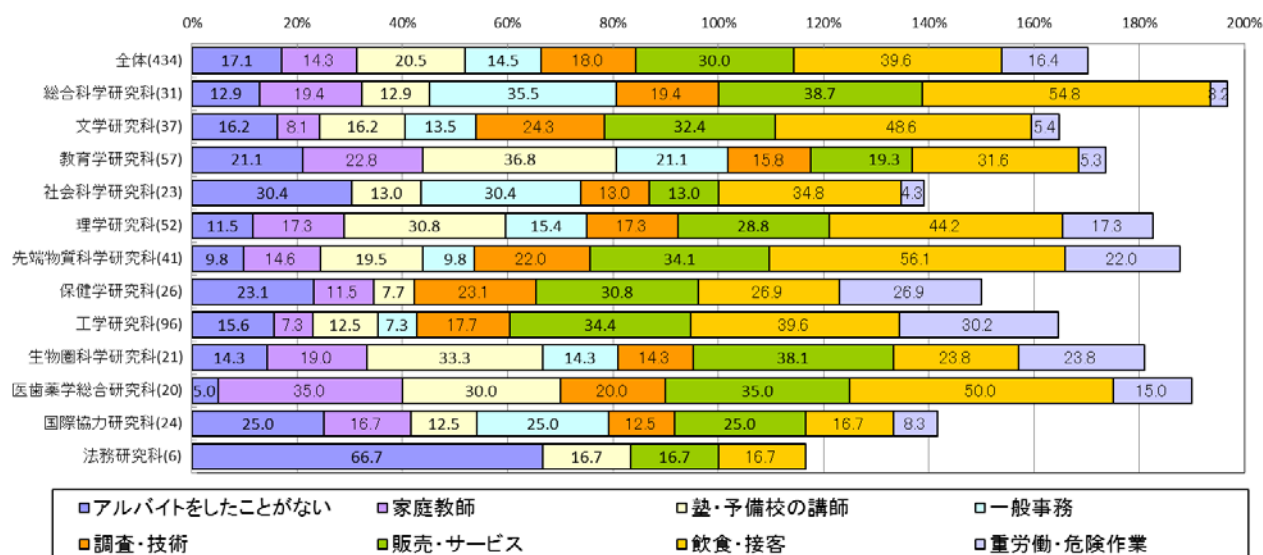


5 アルバイトについて

5-1 アルバイトの経験

全体では8割以上の大学院生がアルバイトを経験していた。その職種として、飲食・接客（39.6%）、販売・サービス（30.0%）が多く、塾・予備校の講師（20.5%）や家庭教師（14.3%）の経験は少なかった。ティーチングアシスタントやリサーチアシスタントに従事している大学院生が多いことが予想されたが、アルバイトの職種は学部生の結果と同様の傾向であった。

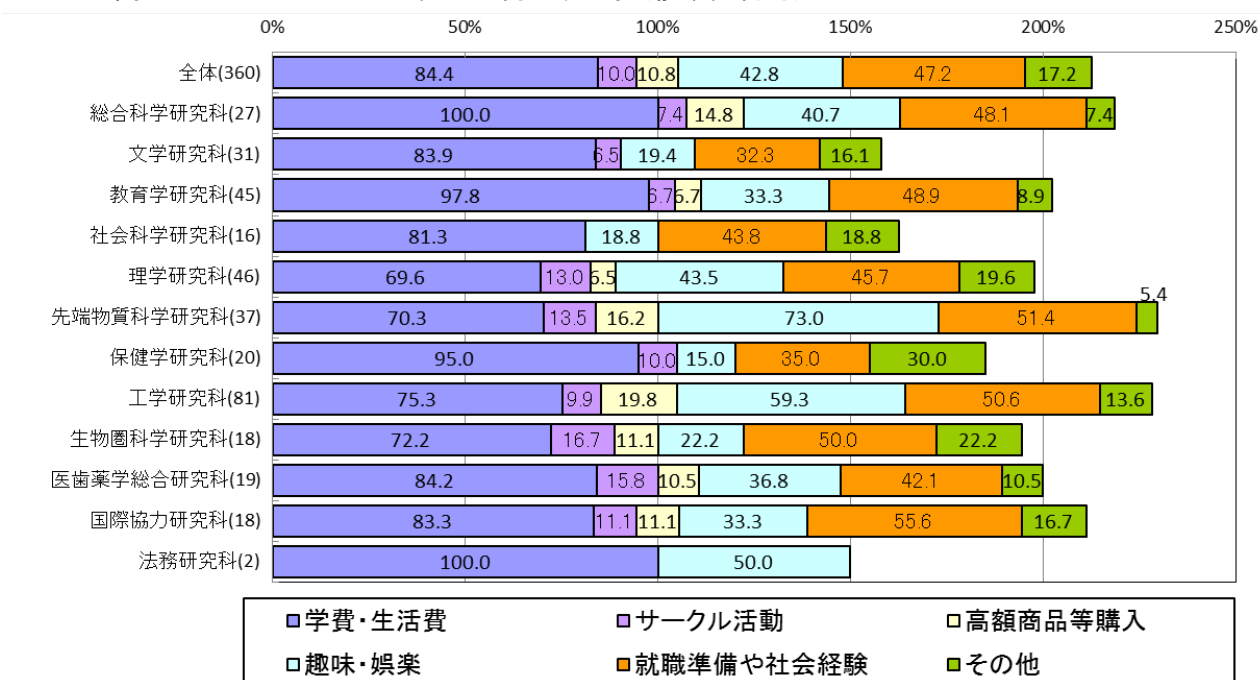
問5 入学後何らかのアルバイトに就業したことがありますか。（複数回答可）



5-2 アルバイトの目的

アルバイトの経験がある大学院生のうち、アルバイトの目的を学費・生活費のためと回答した大学院生が多かった（84.4%）。また、趣味・娯楽（42.8%）と就職準備や社会経験（47.2%）のためと回答した大学院生も多かった。これらは各研究科とも同様の傾向であった。

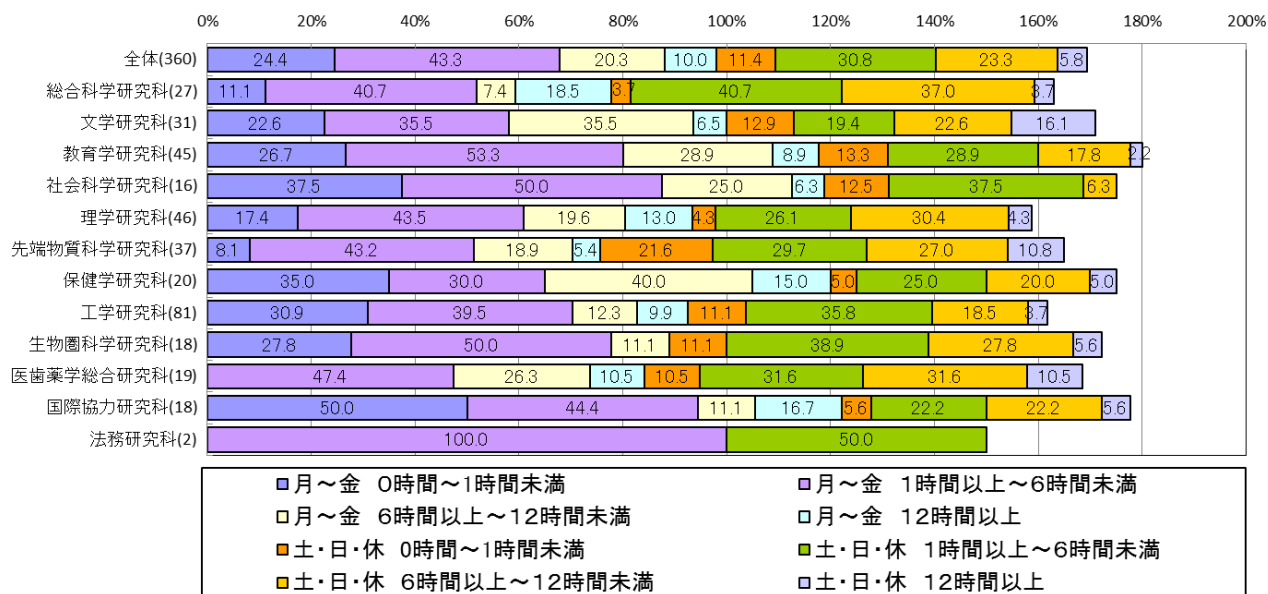
問6 アルバイトの主な目的は何ですか。（複数回答可）



5-3 アルバイトの時間

アルバイトの経験がある大学院生のうち、アルバイトに充てている時間は、平日の月曜から金曜までの5日間で、1時間以上6時間未満が多く(43.3%)、次いで土日休日の1時間以上6時間未満(30.8%)であった。これらの結果は、学部学生と同様であった。

問7 アルバイトに充てている時間を「月曜から金曜」、「土曜 及び 日曜・休日」それぞれの中から一ずつ選択してください。

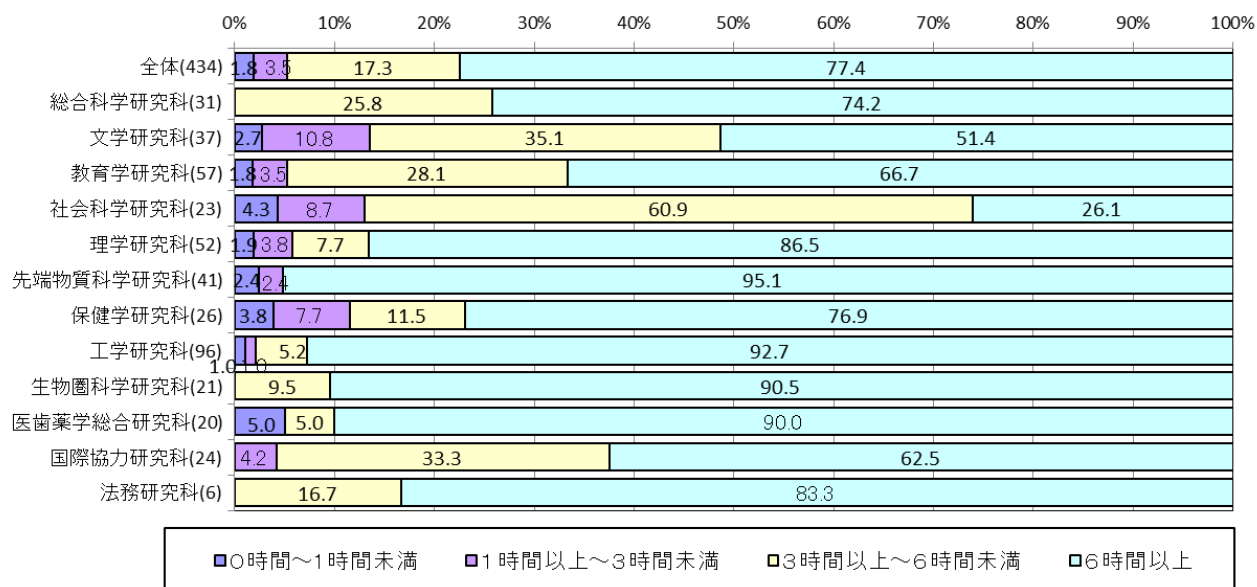


6 大学構内の滞在時間・場所について

6-1 滞在時間

全体では、約8割(77.4%)の学生が6時間以上、大学に滞在している。特に、先端物質科学研究科、工学研究科、生物圏科学研究科、医歯薬学総合研究科など、理系の大学院では、約9割の学生が6時間以上、大学に滞在している。一方、理系に比べ、文系の大学院では(社会科学研究科、文学研究科など)、学生の滞在時間が短い傾向にある。

問8 大学構内にどれくらいの時間滞在していますか。

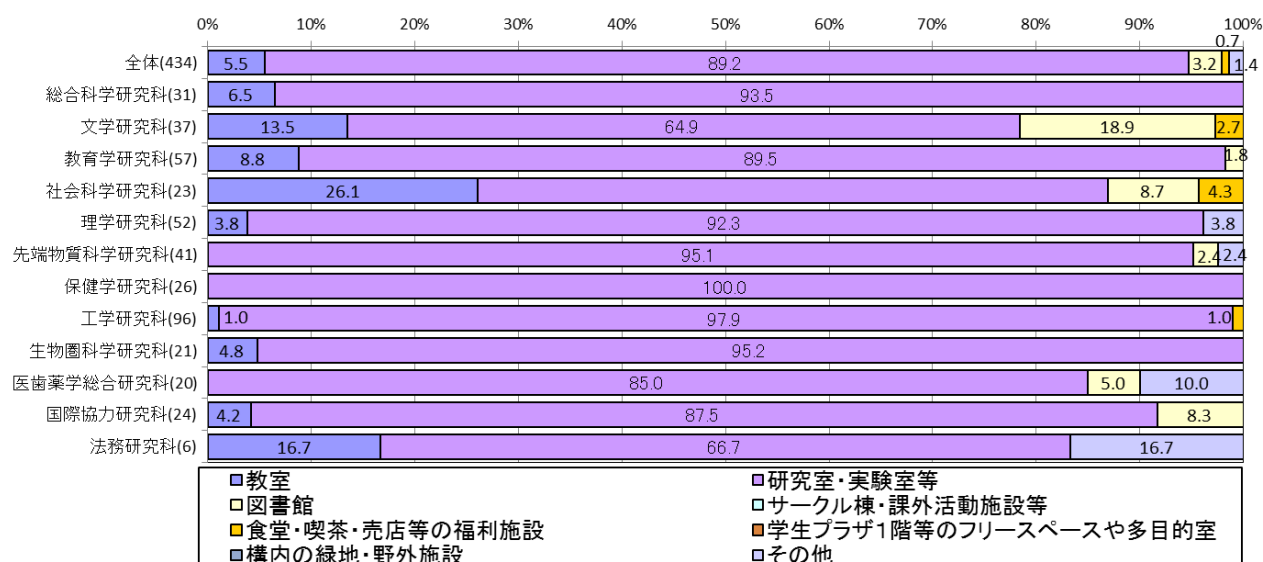


6-2 大学構内の滞在時間のうち、1番目及び2番目に多く滞在している場所はどこですか

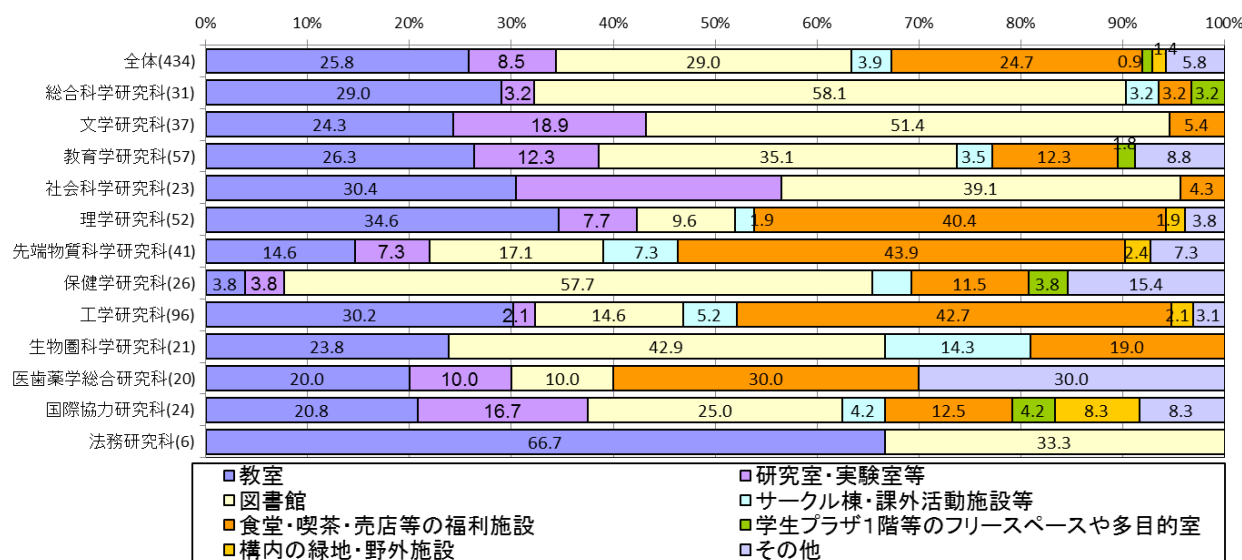
大学院生の場合、1番多く滞在している場所は、研究室・実験室（89.2%）である。これは、大学院別にみても、ほぼ同様の傾向である。ただし、社会科学研究科と文学研究科では、この比率がやや低い。

2番目に多く滞在している場所は、全体では、図書館、教室、食堂などの福利施設が、ほぼ同程度である。ただし、大学院別にみると、図書館に多く滞在しているのは、多い順に、総合科学研究科、保健学研究科、文学研究科、生物圏科学研究科、社会科学研究科である。

問9 大学構内の滞在時間のうち、1番多く滞在している場所はどこですか。



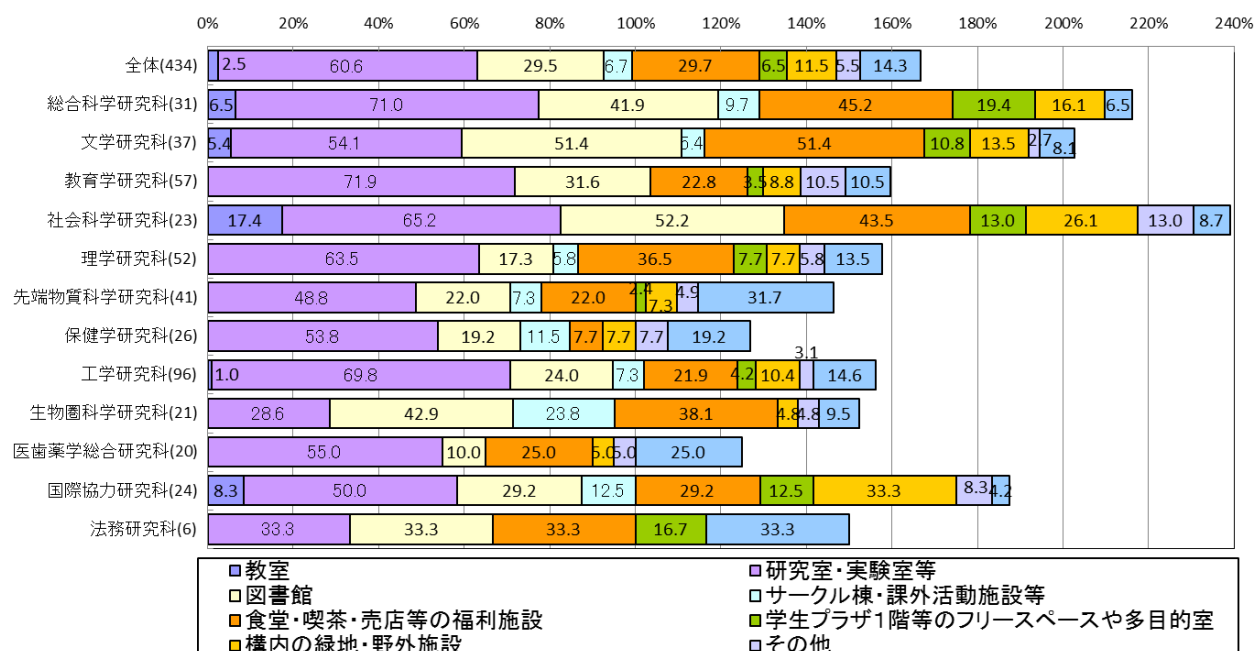
問10 大学構内の滞在時間のうち、2番目に多く滞在している場所はどこですか。



7 大学構内でくつろいで過ごせる場所

大学構内でくつろいで過ごせる場所は、大学院別に大きな差異はなく、研究室・実験室、食堂などの福利施設、図書館の順である。くつろげる場所が、「ない」と答えた学生は、全体では14.3%で、大学院別にみると、多い順に、法務研究科、先端物質科学研究科、医歯薬学総合研究科、保健学研究科、工学研究科である。

問 11 大学内にくつろいで過ごせる場所がありますか。(複数回答可)

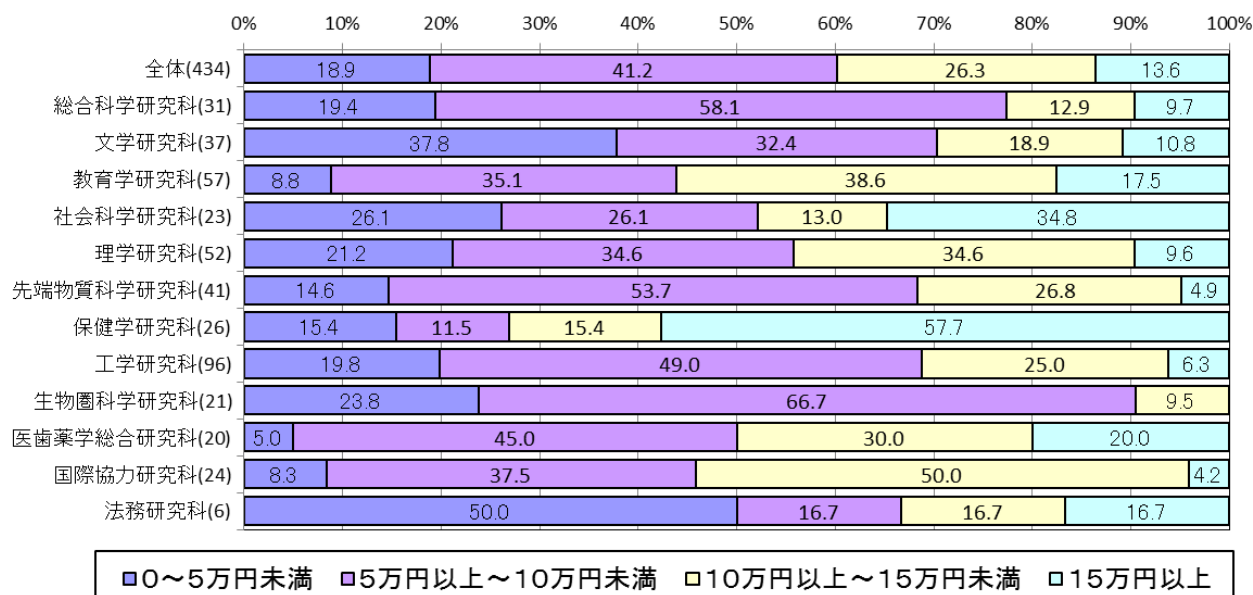


8 1ヶ月の生計費（収入・支出）

8-1 収入

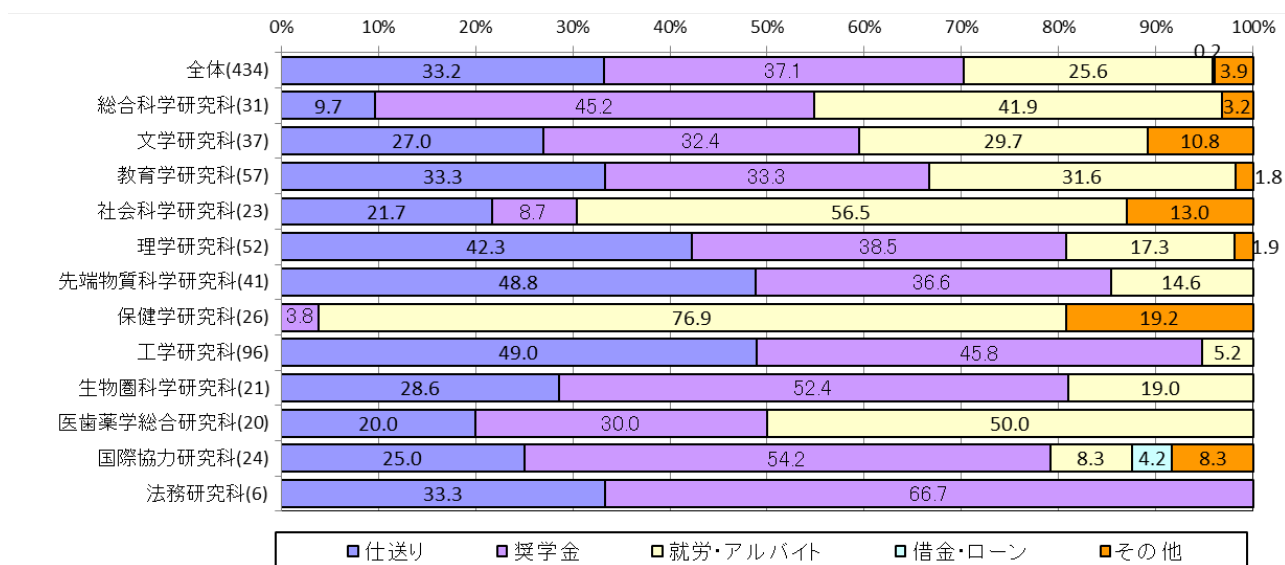
最も多いのは5万円以上10万円未満（41.2%）、次いで10万円以上15万円未満（26.3%）、5万円未満（18.9%）と続く。学部生に比べて10万円以上収入のある割合が多い（学部生24.9%→大学院生39.9%）。保健学研究科は15万円以上収入のある割合が多い（平均13.6%、保健学研究科57.7%）。生物圏科学研究科は5万円以上10万円未満の割合が多い（平均41.2%、生物圏科学研究科66.7%）。また、法務研究科は5万円未満の割合が突出して多い（平均18.9%、法務研究科50.0%）。

問 12 1ヶ月の生計費（収入）はいくらですか。



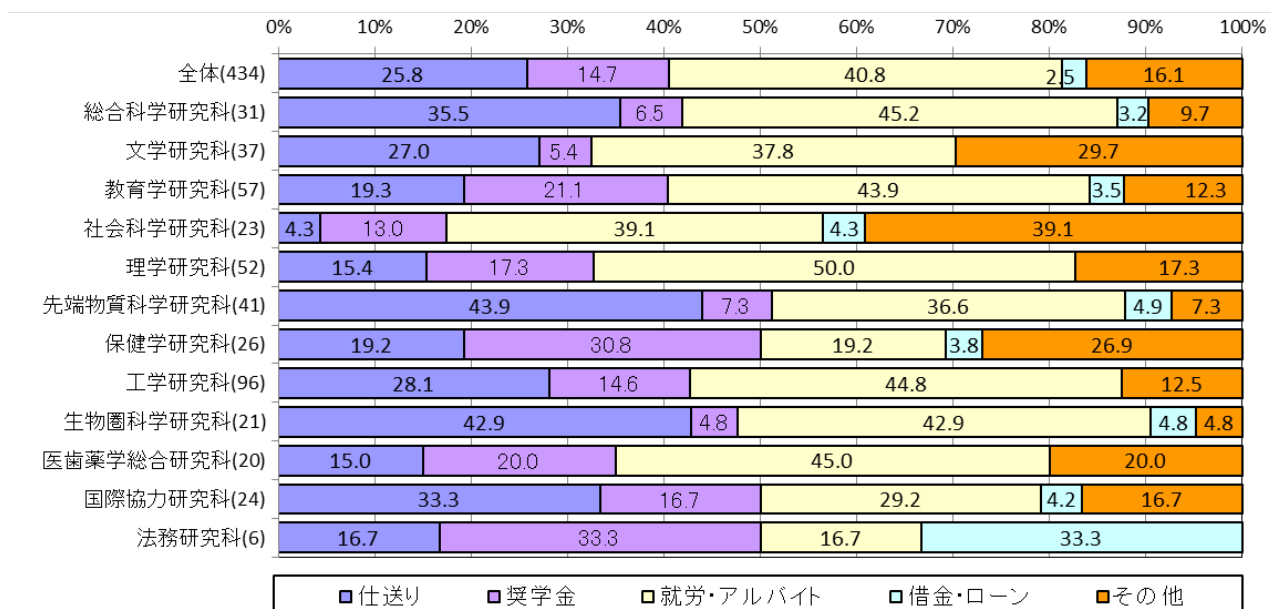
問 13 1ヶ月の生計費（収入）のうち、1番多い収入は、次のどれですか。

最も多いのは奨学金（37.1%）、次いで仕送り（33.2%）、就労・アルバイト（25.6%）と続く。学部生に比べて仕送りの比率割合が少なく（学部生 51.7%：大学院生 33.2%）、奨学金の比率割合（学部生 27.8%：大学院生 37.1%）、就労・アルバイトの比率割合（学部生 16.8%：大学院生 25.6%）が多い。保健学研究科は就労・アルバイトの割合が突出して多い（平均 25.6%、保健学研究科 76.9%）。看護師、理学療法士、作業療法士等の資格保有者が多く、就労の機会が多いためと思われる。問 12 において、保健学研究科は15万円以上収入のある割合が多く見られるが、就労・アルバイトの機会が多いためと思われる。



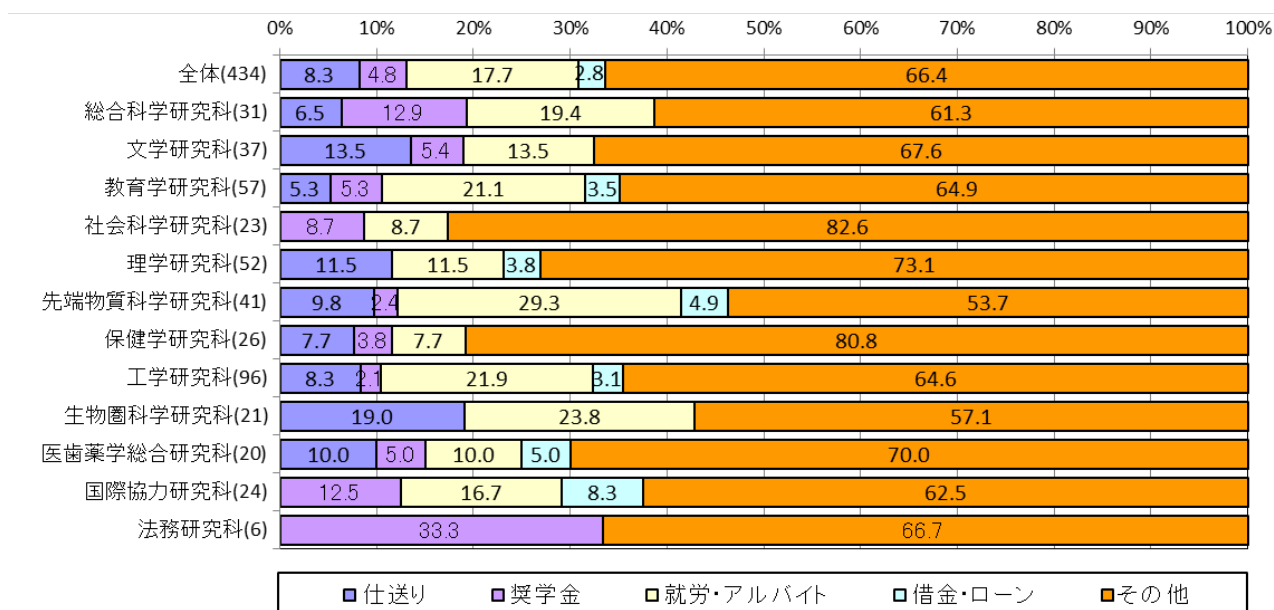
問 14 1ヶ月の生計費（収入）のうち、2番目に多い収入は、次のどれですか。

学部生と同様の傾向で、最も多いのは就労・アルバイト（40.8%）、次いで仕送り（25.8%）。



問 15 1ヶ月の生計費（収入）のうち、3番目に多い収入は、次のどれですか。

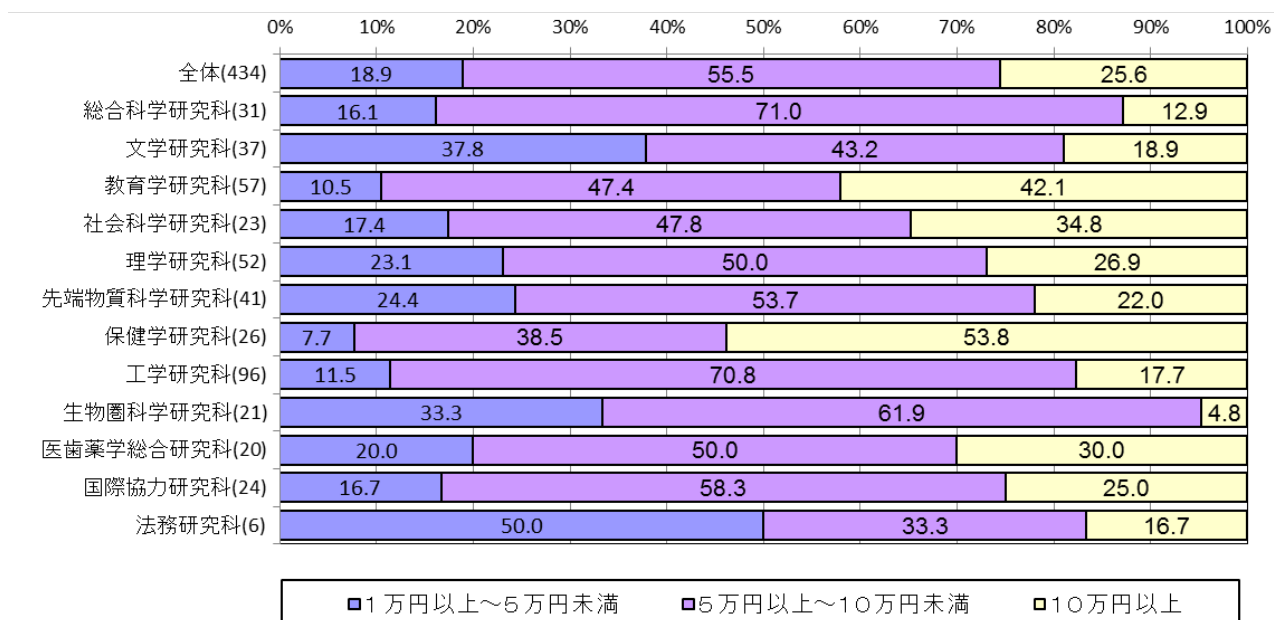
最も多いのがその他（66.4%）であり、実態は不明である。



8-2 支出

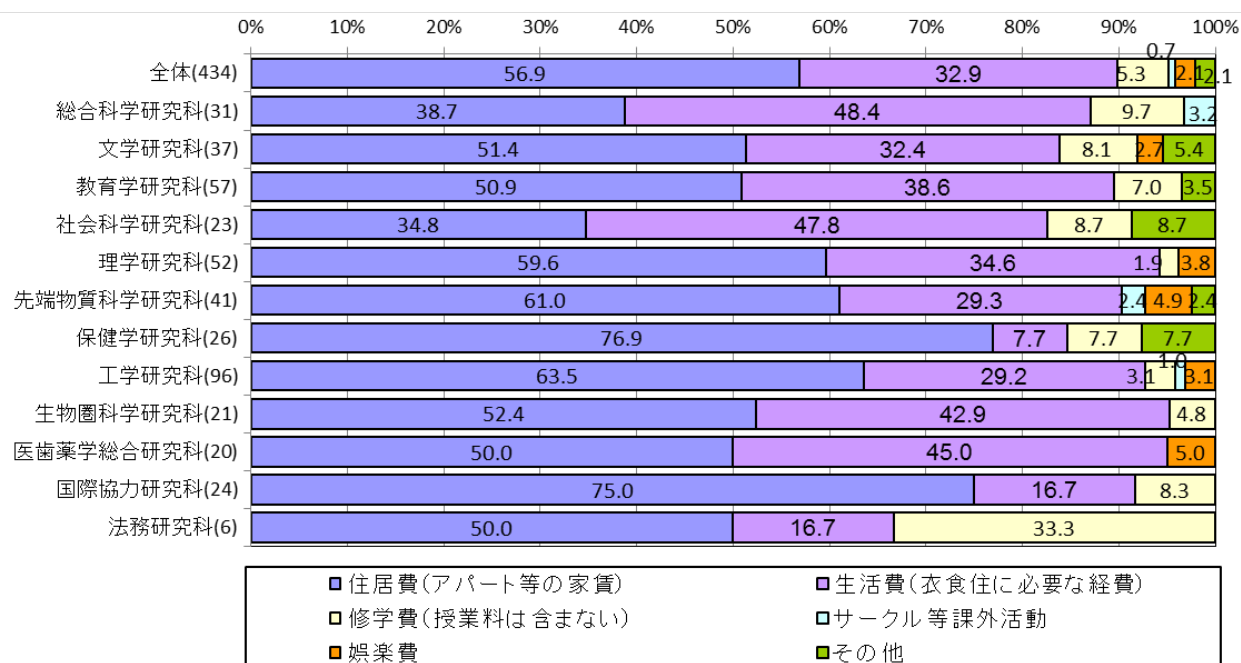
最も多いのは5万円以上10万円未満（55.5%）、次いで10万円以上（25.6%）、5万円未満（18.9%）と続く。5万円未満の比率が学部生より少なく（学部生 34.2%：大学院生 18.9%）、10万円以上の比率が学部生より多い（学部生 11.9%：大学院生 25.6%）。保健学研究科は10万円以上の割合が多い（平均 25.6%、保健学研究科 53.8%）。問 12、問 13 の回答にリンクしている。

問 16 1ヶ月の生計費の支出はいくらですか。



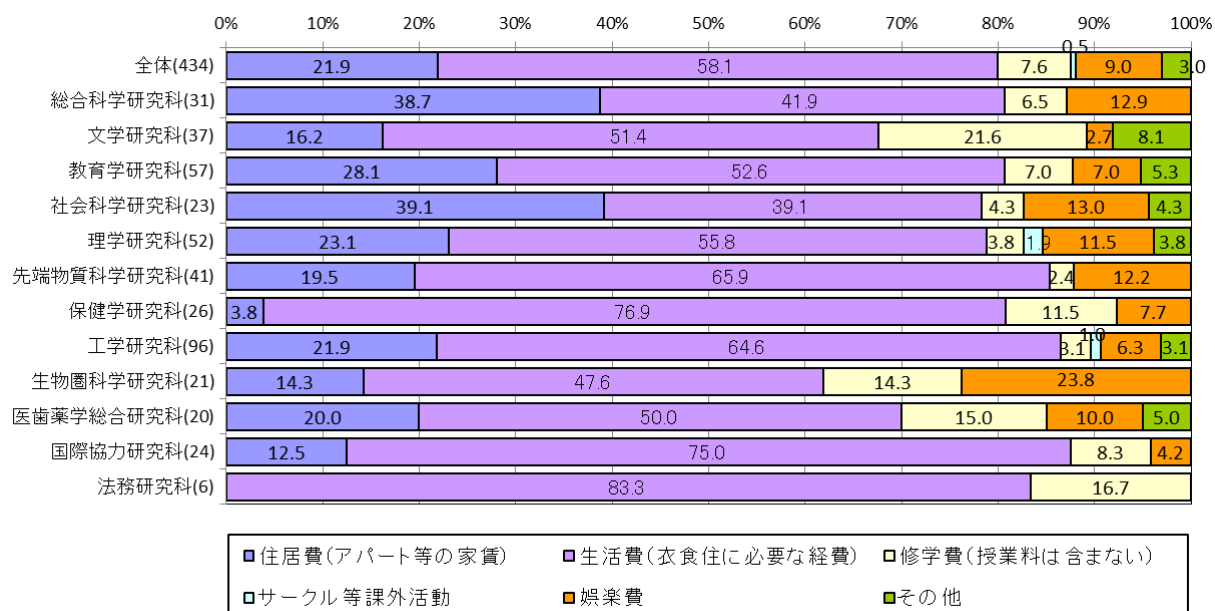
問 17 1ヶ月の生計費（支出）のうち、1番多く必要とする経費は何ですか。（授業料は含まない）

学部生とほとんど同様の傾向である。最も多いのは住居費（56.9%）、次いで生活費（32.9%）。



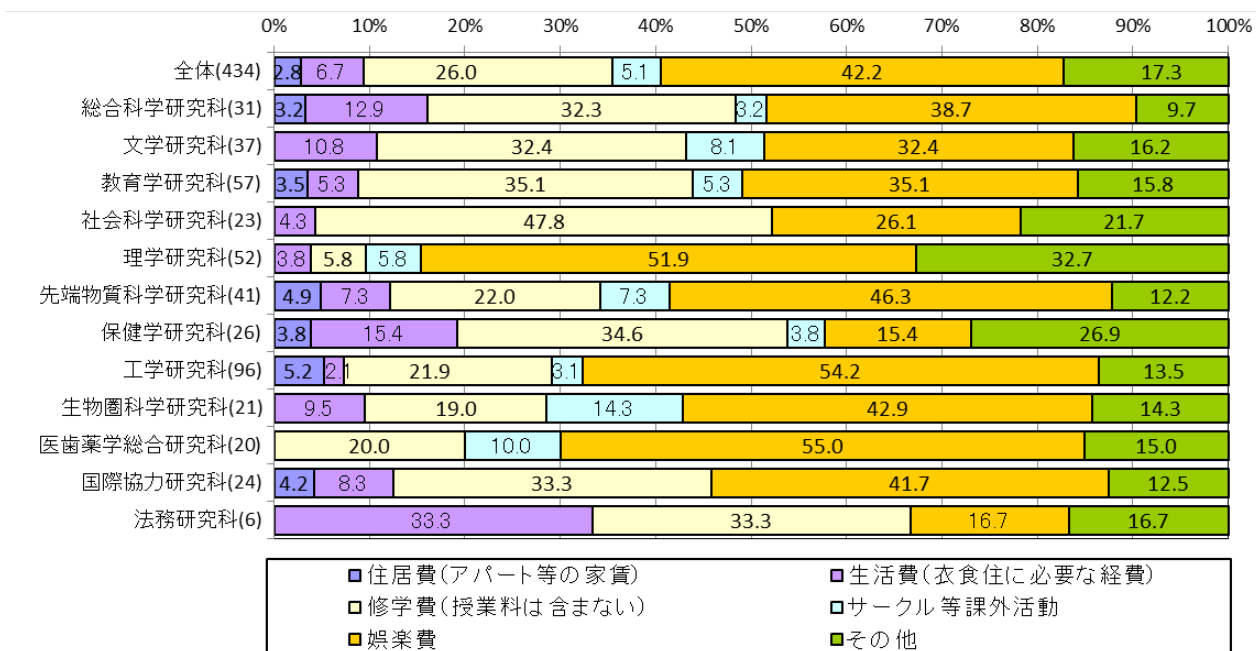
問 18 1ヶ月の生計費（支出）のうち、2番目に多く必要とする経費は何ですか。（授業料は含まない）

学部生とほぼ同様の傾向である。最も多いのは生活費（58.1%）、次いで住居費（21.9%）、娯楽費（9.0%）と続く。



問 19 1ヶ月の生計費（支出）のうち、3番目に多く必要とする経費は何ですか。（授業料は含まない）

最も多いのは娯楽費（42.2%）、次いで修学費（26.0%）である。学部生に比べて修学費が多く（学部生 12.0%：大学院生 26.0%）、サークル等課外活動費が少ない（学部生 18.9%：大学院生 5.1%）。

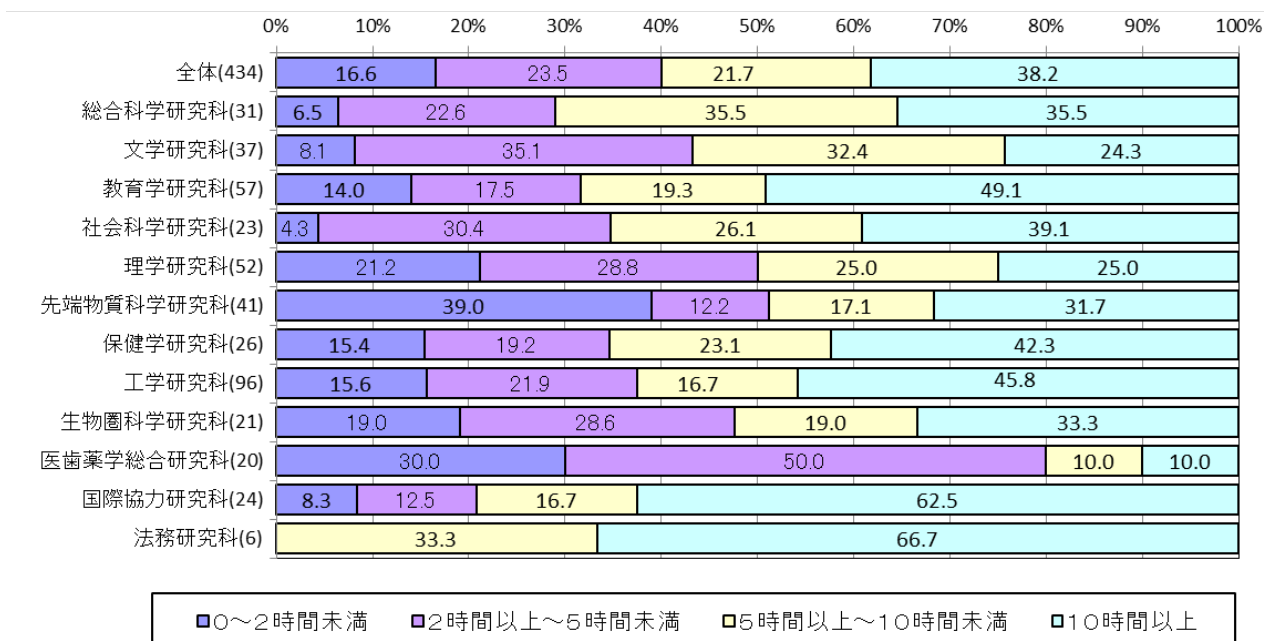


9 1週間平均の学習時間

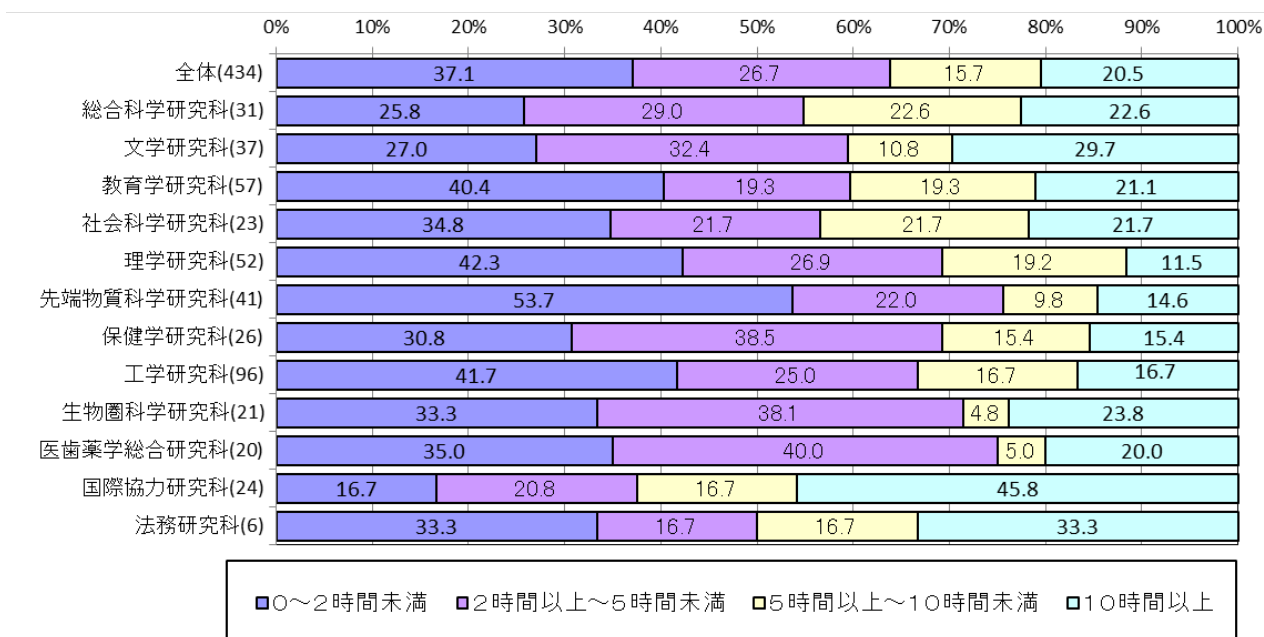
授業やゼミの予習・復習に充てている、1週間の平均時間を、全学的にみると、多い順に、10時間以上が38.2%、続いて、2時間から5時間未満が23.5%、5時間から10時間未満が21.7%、2時間未満が16.6%である。この傾向は、医歯薬学総合研究科（5時間未満が80%）を除いては、大学院別に大きな差異はないようだ。ただし、法務研究科と国際協力研究科では、約6割以上が10時間以上と回答している。

また、授業や研究以外の学習に充てている時間も、全学的にみると、2時間未満が16.6%、2時間から5時間未満が23.5%である。ただし、国際協力研究科は、5時間以上が62.5%である。

問 20 1週間を平均して、授業やゼミの予習・復習にどれくらいの時間をあてていますか。



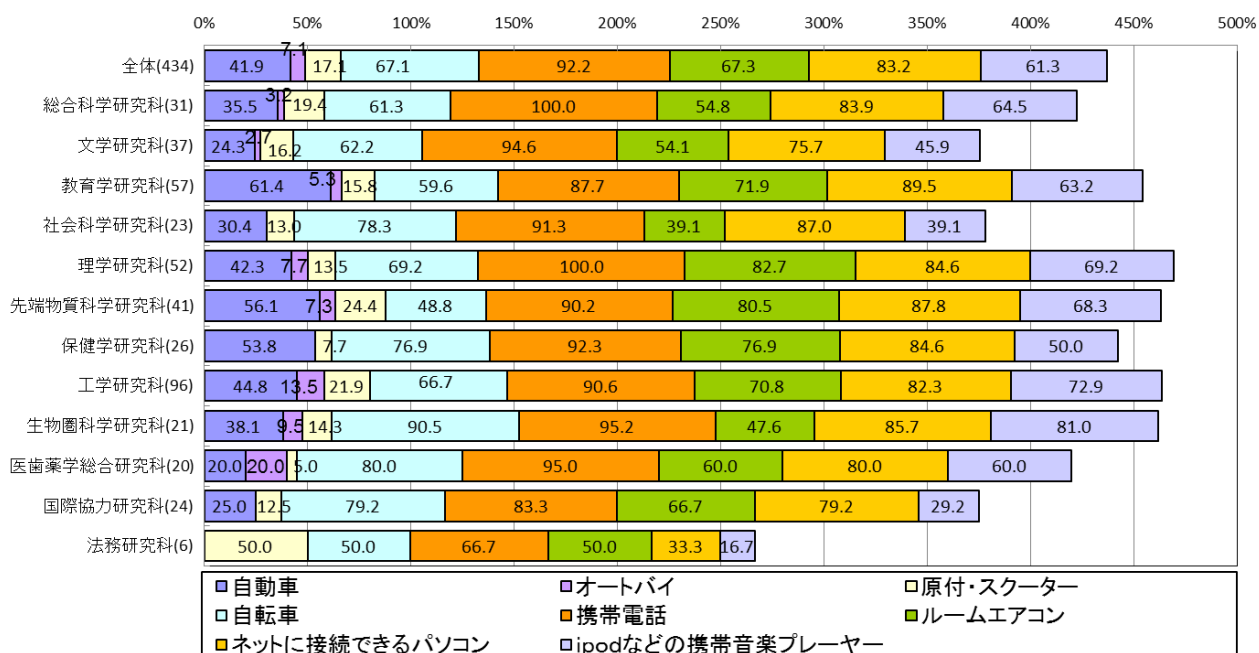
問 21 1週間を平均して、授業や研究以外の学習にどれくらいの時間をあてていますか。



10 所有もしくは占有している物

学生の所有物の所有比率を全学的にみると、移動手段では、自動車・オートバイ・原付・スクーターの総数が 66.1%、自転車 67.1%。一方、所有物では、所有比率の高い順に、携帯電話、パソコン、ルームエアコン、携帯音楽プレーヤーであり、多くの学生が所有している。

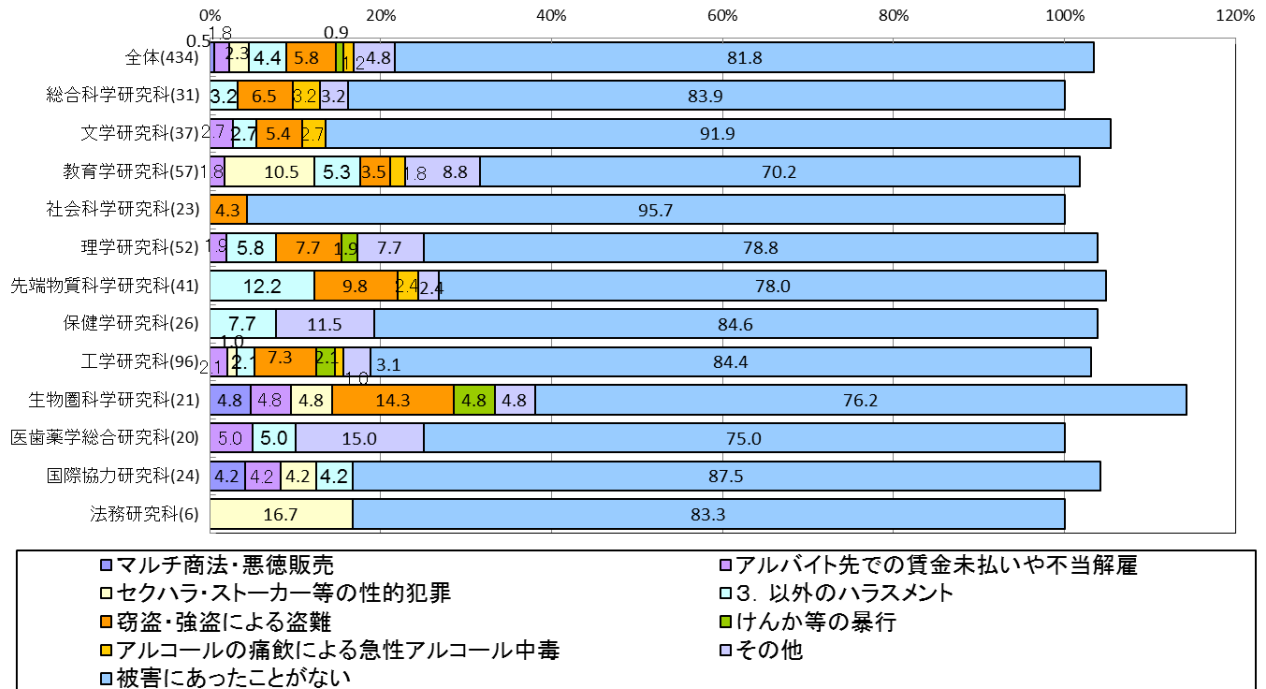
問 22 所有もしくは専用物がありますか。(複数回答可)



11 犯罪やトラブルなどの被害経験

犯罪やトラブルなど、何らかの被害にあったことがある者は 19.2%。割合として高いのは学部生調査と同様に盗難の 5.8%であるが、これは前回の大学院生調査と同じ傾向である。

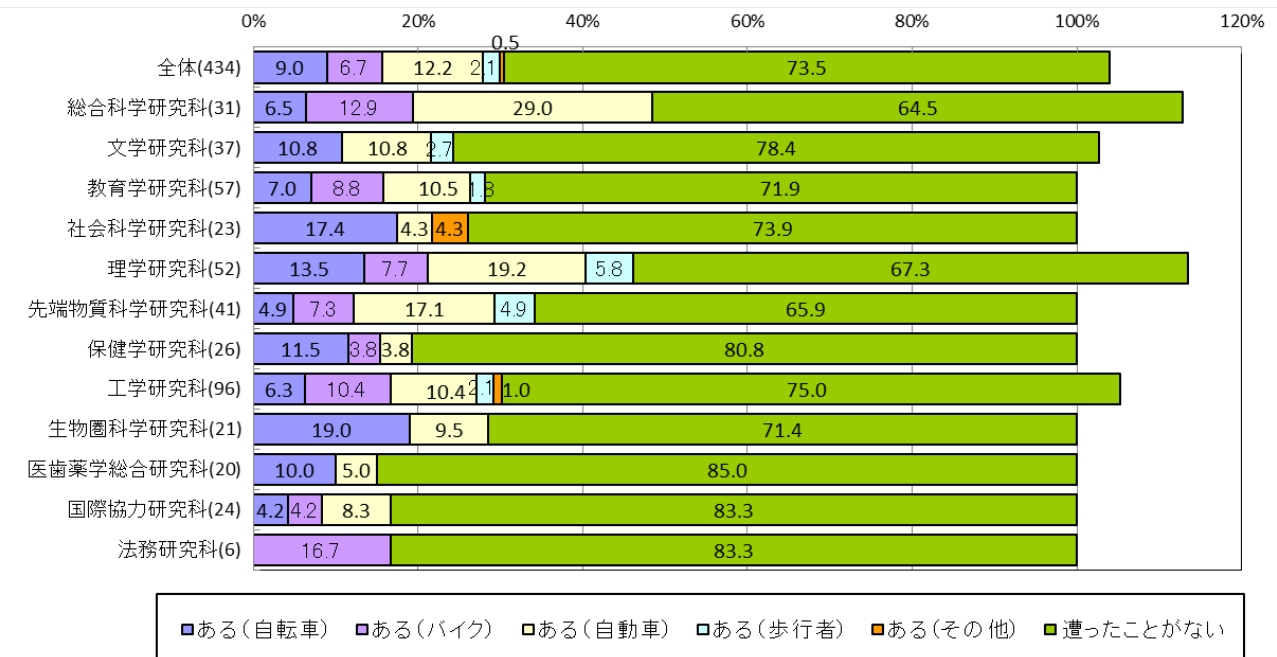
問 23 学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか。(複数回答可)



12 交通事故の経験

在学中に交通事故にあったことがある者は 26.5%で、学部生に比べ多くなっている。大学院生では自動車での事故が増え 12.2%、次に自転車 9.0%、バイク 6.7%と続く。

問 24 在学中交通事故に遭ったことがありますか。(複数回答可)

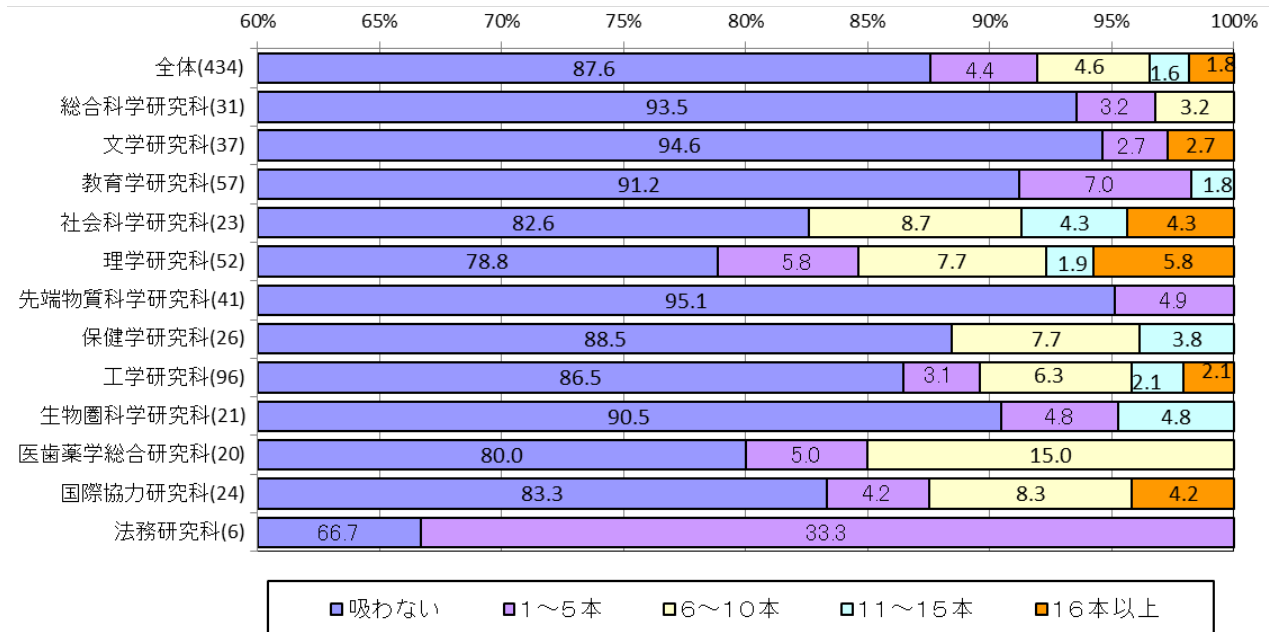


13 喫煙及び飲酒の習慣

13-1 喫煙の習慣

学部生と比べると、大学院生における喫煙の習慣は若干増える傾向にある。また、研究科によって4.9%～33.3%とかなりばらつきがみられた。

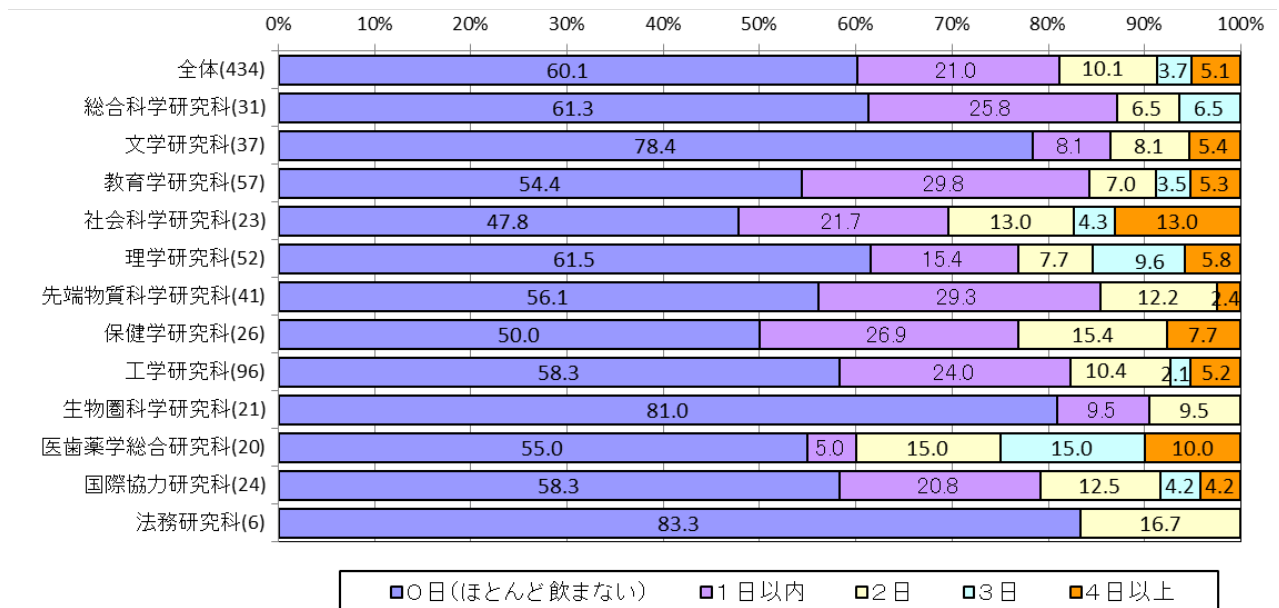
問 25 喫煙の習慣がありますか。1日に吸う本数をお答えください。



13-2 飲酒の習慣

飲酒の習慣がある者は39.9%。1週間に飲む日数は1～2日というものが大半である。ただ、4日以上飲むものが5.1%と学部生2.2%に比べると多くなっている。

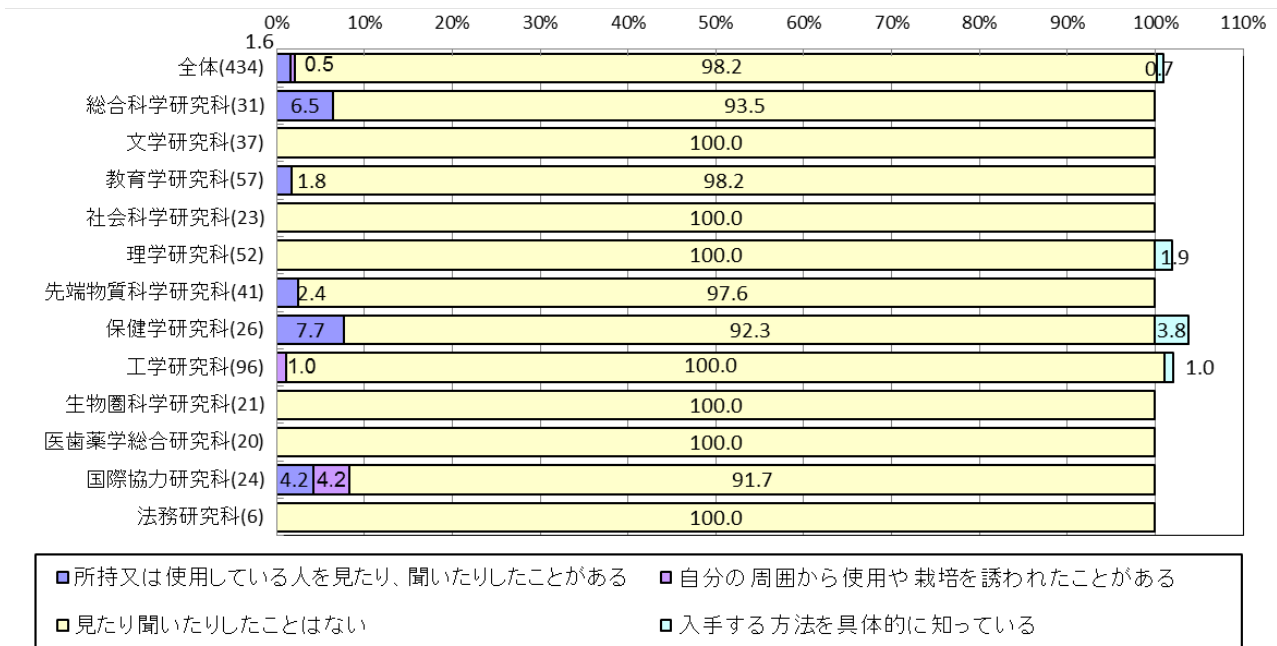
問 26 飲酒の習慣がありますか。1週間に飲む日数をお答えください。



14 薬物（大麻等・覚醒剤）について

98.2%が、薬物（大麻等・覚醒剤）について見たり聞いたりしたことはないと回答している。しかし、学部生調査と同様に、使用や栽培を誘われたことがある者も0.5%存在する。

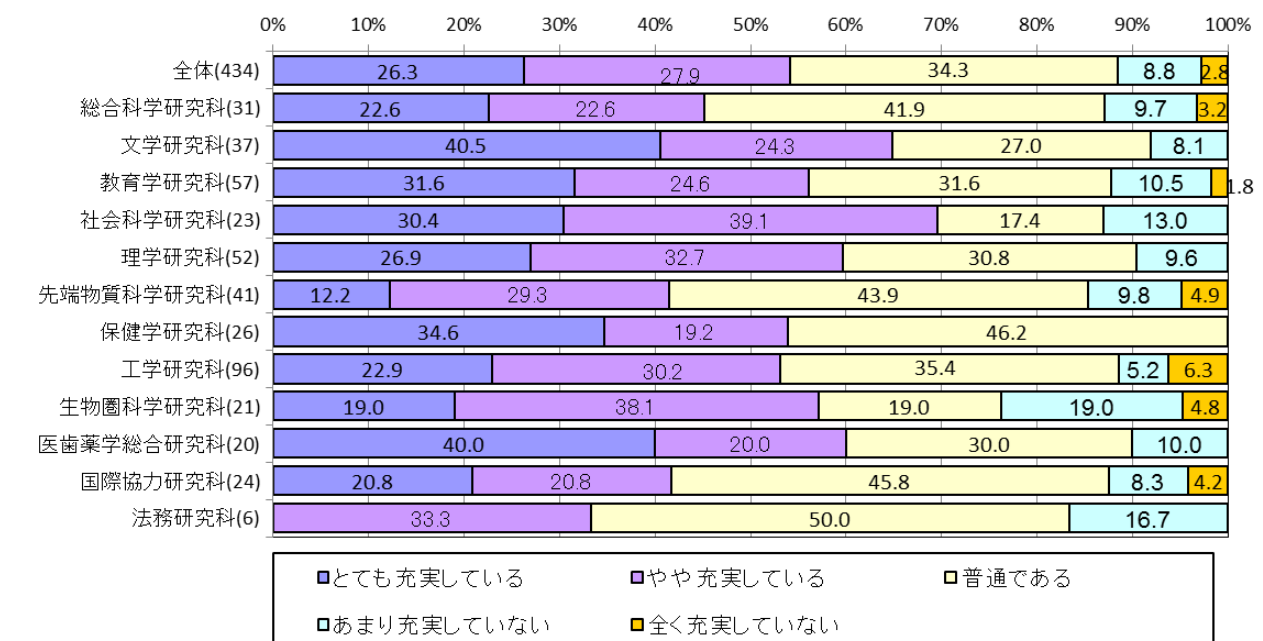
問 27 薬物（大麻等・覚醒剤）について、該当するものを選択してください。（複数回答可）



15 授業以外の学生生活の充実度

前回調査では「とても充実している」「やや充実している」という回答が60%を超えていたのに比べて、今回は54.2%と減少している。また、「あまり充実していない」「全く充実していない」は合わせて11.6%。と、前回より若干増加している。

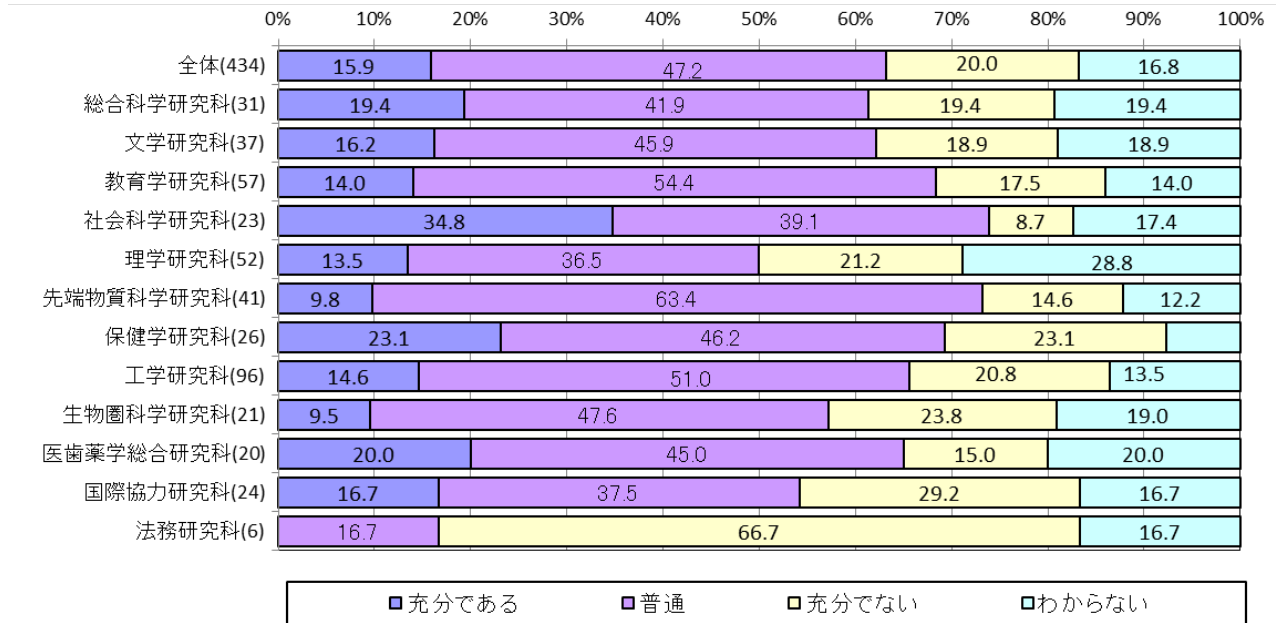
問 28 授業以外の学生生活を充実して過ごしていますか。



16 授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス

前回は「充分である」と「普通」を合わせた回答が全体で80%を超えていたが、今回は63.1%であった。また「充分でない」が20.0%と前回より倍増している。

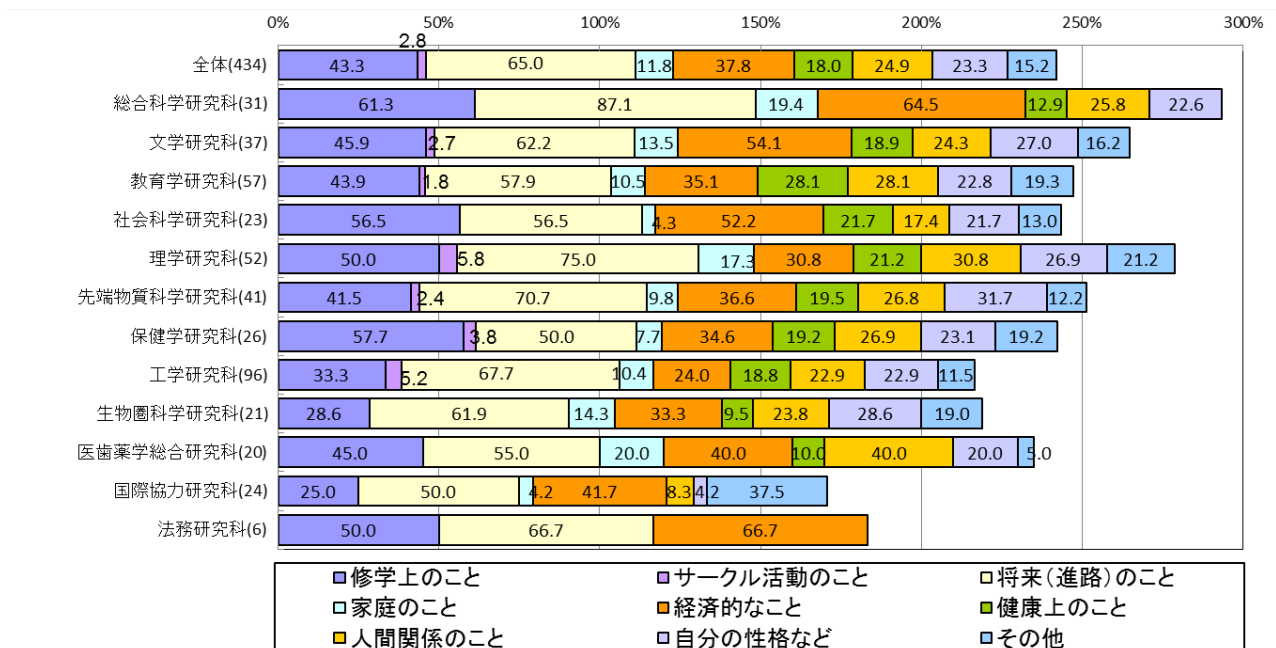
問 29 授業以外の学生生活に関して、大学側のサポート（支援）体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか。



17 学生生活の悩み

大学院生においても、学生生活の悩みの中でもっとも多かったのは、将来（進路）のこと 65.0%であり、次に修学上の問題 43.3%と続く。学部生調査と比べて、経済的なこと及び健康上のことでの悩みが若干多くなっている。

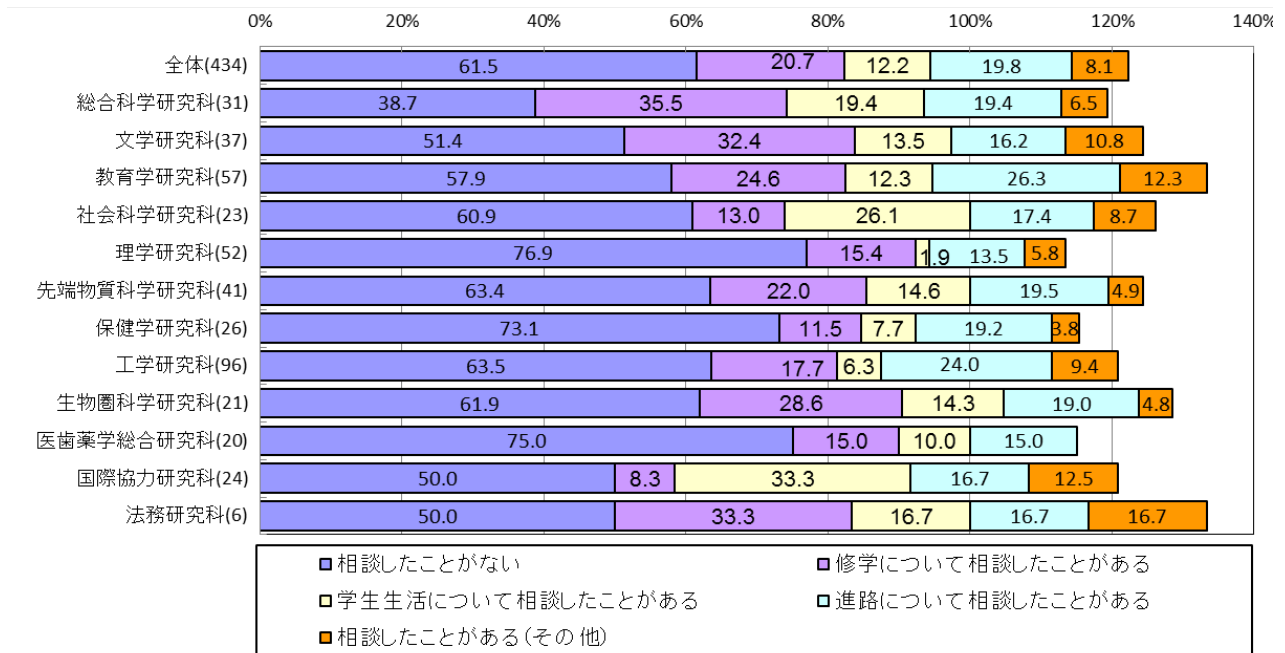
問 30 学生生活の中で悩みがありますか。（複数回答可）



18 チューターへの相談と相談内容

研究科によって 23.1～61.3%と、相談経験にはばらつきがみられる。相談内容では、修学および進路についてそれぞれが 20%前後、学生生活に関する相談も 12.2%あった。全体で 38.5%の学生が相談したことがあると回答している。

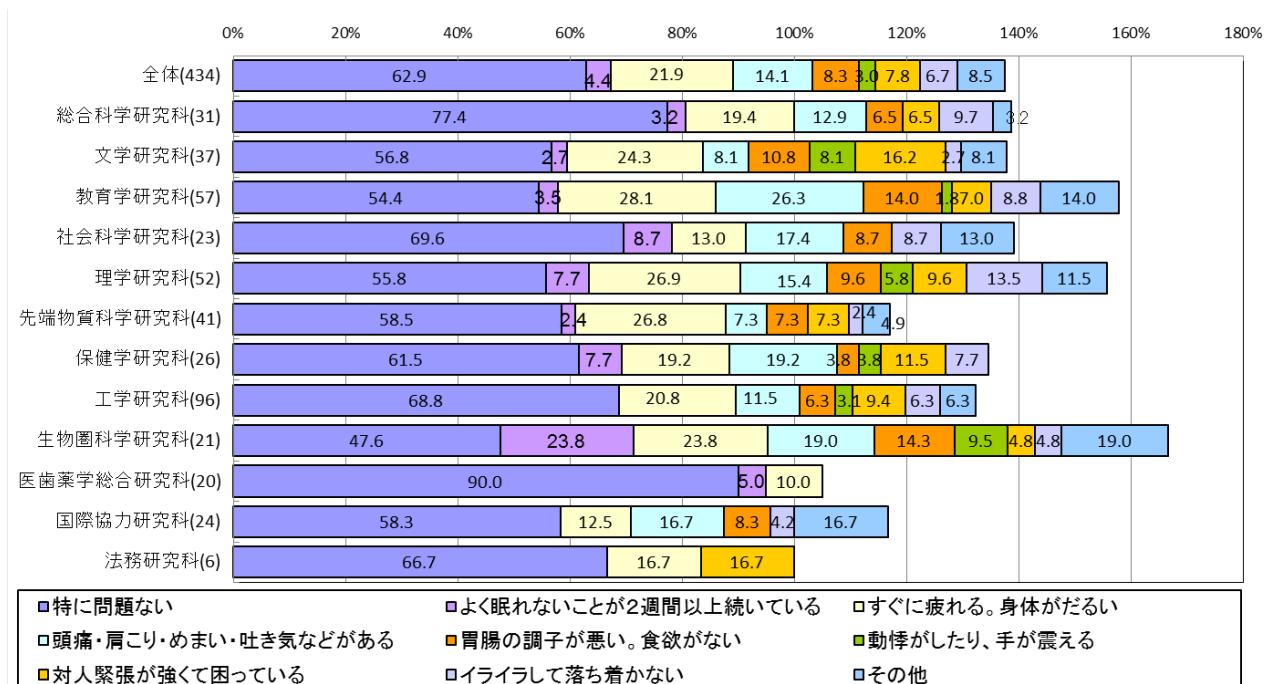
問 31 修学や学生生活に関して相談するチューター教員がいますが、チューターに相談したことがありますか。相談したことがある場合は、相談内容を選択してください。（複数回答可）



19 現在の健康状態

全体では 62.9%が、特に問題ないと回答している。一方で、4割弱の学生が何らかの不調を感じており、学部生に比べ、どの症状もポイントが高くなっている。2週間以上の不眠が続いている者も 4.4%存在し、ストレスや疲労の蓄積が健康に及ぼす影響が懸念される。

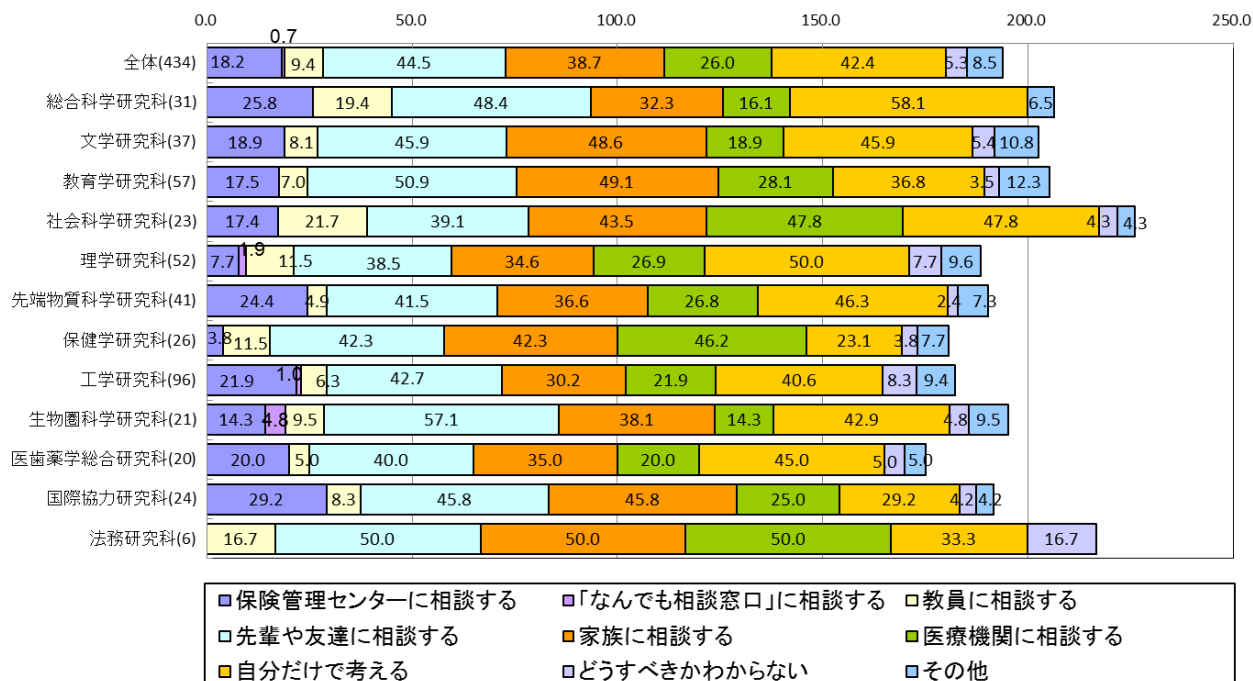
問 32 現在の健康状態はどうか。（複数回答可）



20 身体面・心理面の悩みの解消

悩みの解消に当たっては、学部生と同様に、先輩・友達に相談するがもっとも多く 44.5%であった。家族に相談するは、学部生より少し減って 38.7%、一方で医療機関や保健管理センター等の専門機関に相談する率は増えている。自分だけで考えるという回答も 42.4%あった。

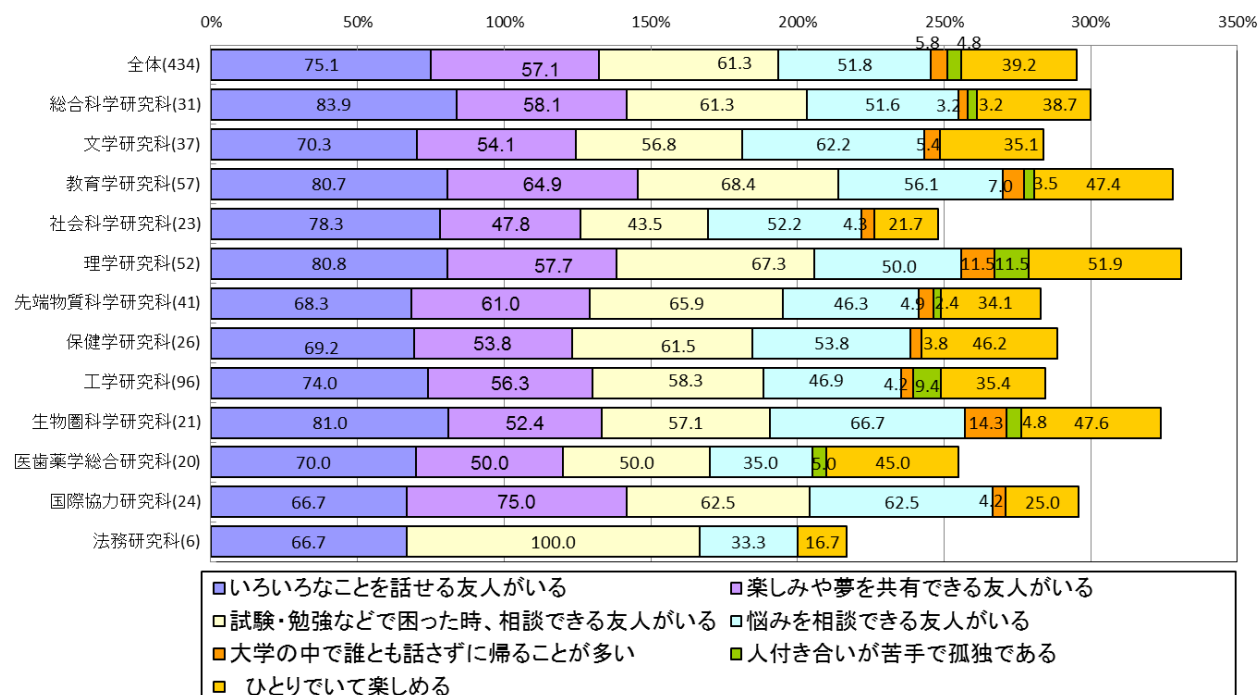
問 33 身体面、心理面で何か悩みが生じた場合には、解消に向けてどうしますか。(複数回答可)



21 友人との関係

いろいろなことを話せる友人がいるという回答は 75.1%で、学部生の 81.6%に比べ、やや少なくなっている。また、悩みを相談できる友人がいるという回答も、学部生 61.2%から大学院生 51.8%と減少しており、大学院生は学部時代より友人との交流はやや希薄になる傾向が示唆された。

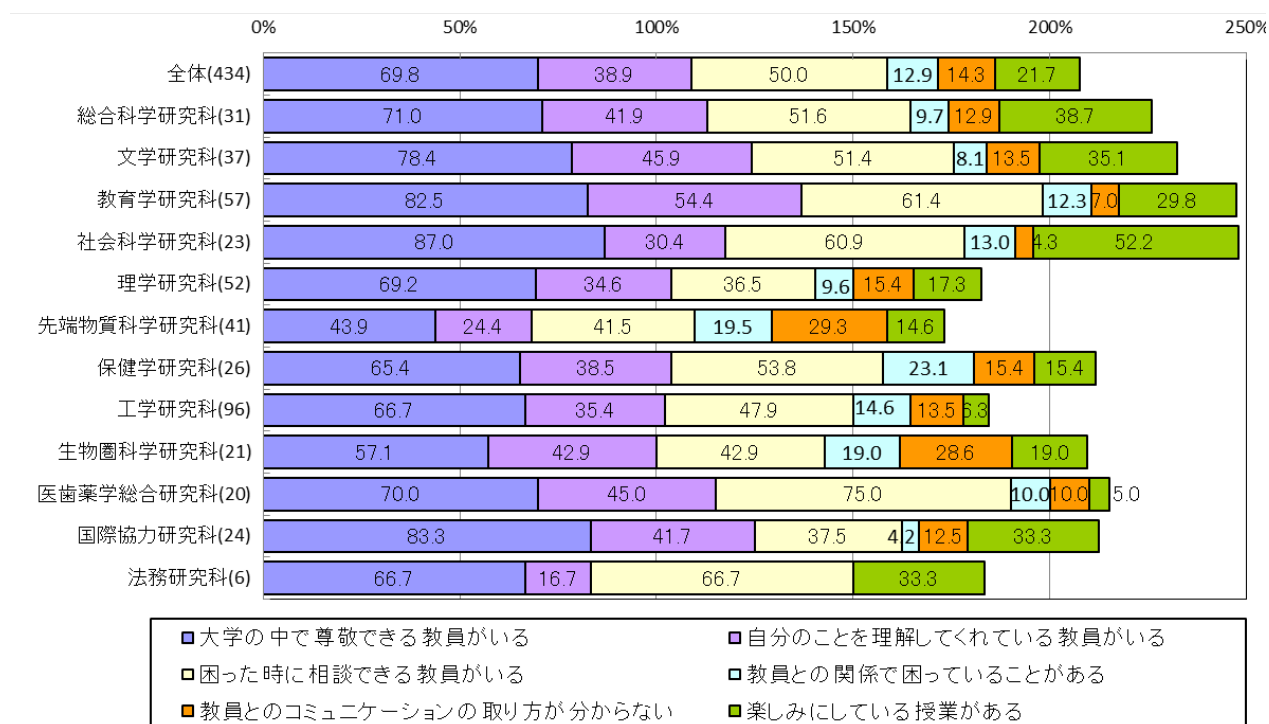
問 34 友人についてお尋ねします。(複数回答可)



22 教員との関係

全体では、69.8%が大学の中で尊敬できる教員がいると回答している。困った時に相談できる教員がいるのは50.0%と、学部生の24.6%に比べてかなり多く、また、自分のことを理解してくれている教員がいるという回答も、学部生14.2%から大学院生38.9%と増加している。一方で、教員との関係で困っていることがあるという回答が12.9%と、学部生の5.7%に比べ倍になっている。いずれも、学生と教員の関係が、大学院に入るとより近くなるということが背景にあると考えられる。

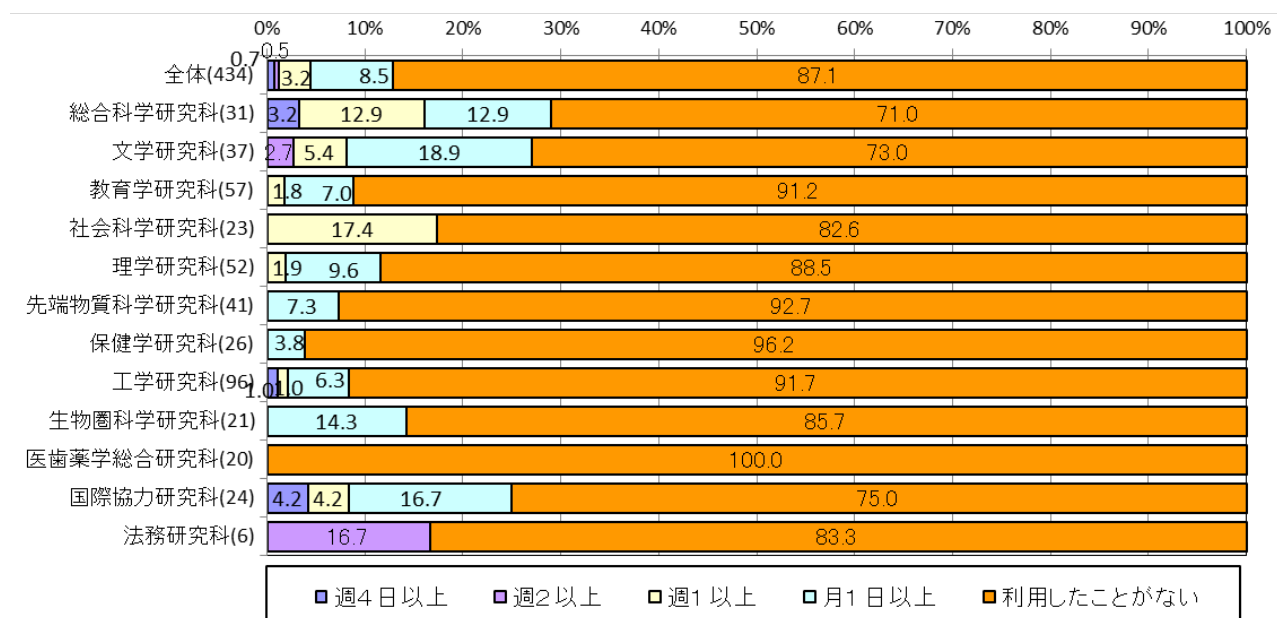
問 35 教員についてお尋ねします。(複数回答可)



23 学生交流スペースの利用

全体として、利用したことがある学生は13%程度しかなく利用率は低い。その要因として、大学院生は、各研究科において研究室や自習室など、学生用スペースが確保されていることから、フリースペースの必要性は学部生より低いと思われる。

問 36 「学生プラザ1階のフリースペース」や西第1福利会館の集会室を利用したことがありますか。

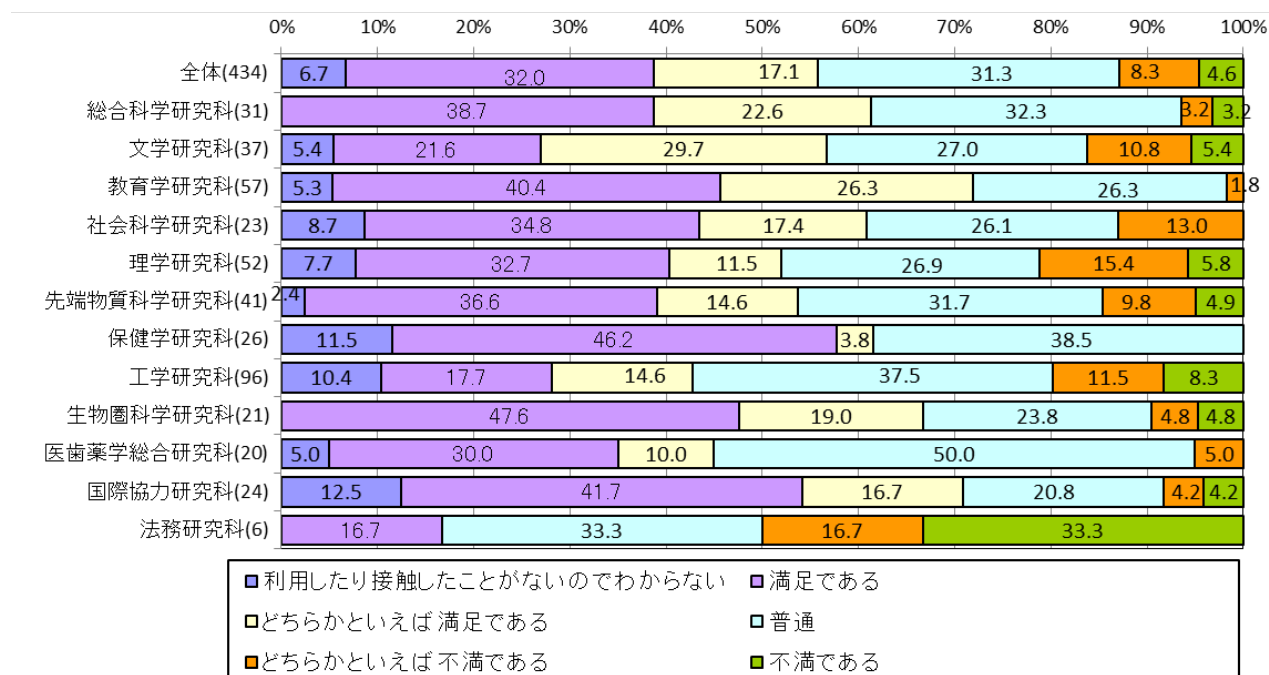


24 所属学部・研究科の学生支援室の対応

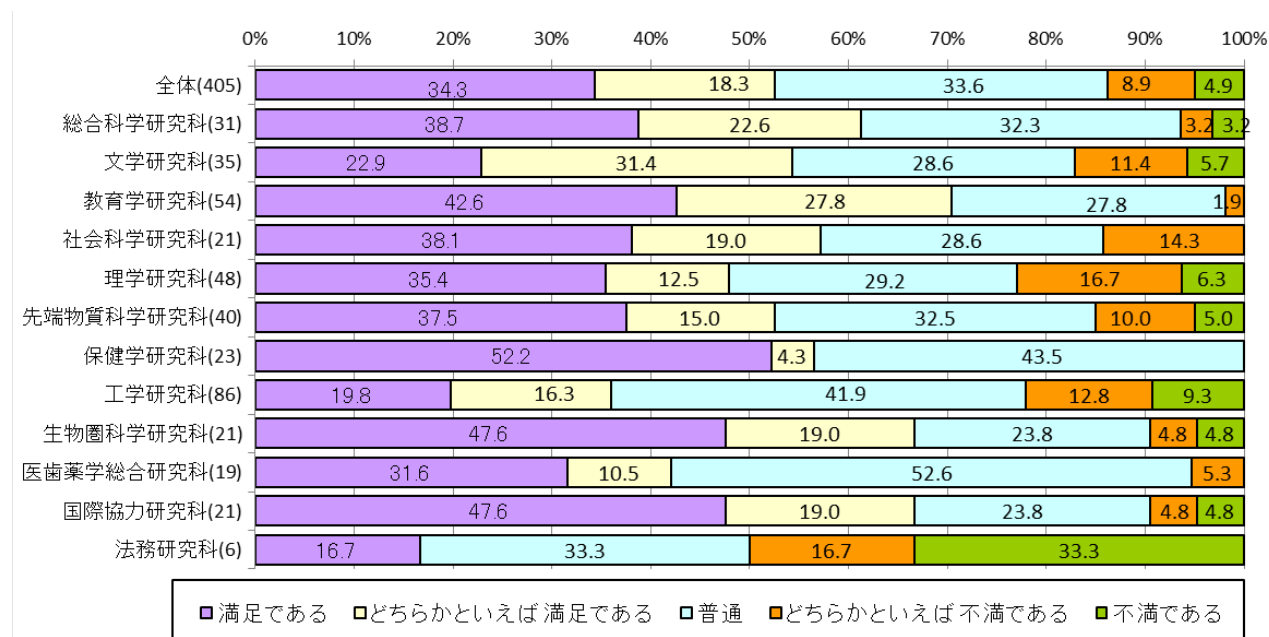
全体として 90%以上が利用したことがあり（グラフ 1）、そのうち（グラフ 2）の 52.6%が「満足である」「どちらかといえば満足である」となっている。また、「どちらかといえば不満」「不満」と回答したものは 12.9%である。研究科別では理学研究科と工学研究科が 20%程度と「どちらかといえば不満」「不満」が若干多い。なお、法務研究科は「どちらかといえば不満」「不満」の率が著しく多いが、回答した学生数が 6 名であることから評価はできない。

問 37 所属学部・研究科の学生支援室の対応について、印象や満足度を教えてください。

* グラフ 1（利用したことがない者を含む）



* グラフ 2（利用したことがある者のみ）



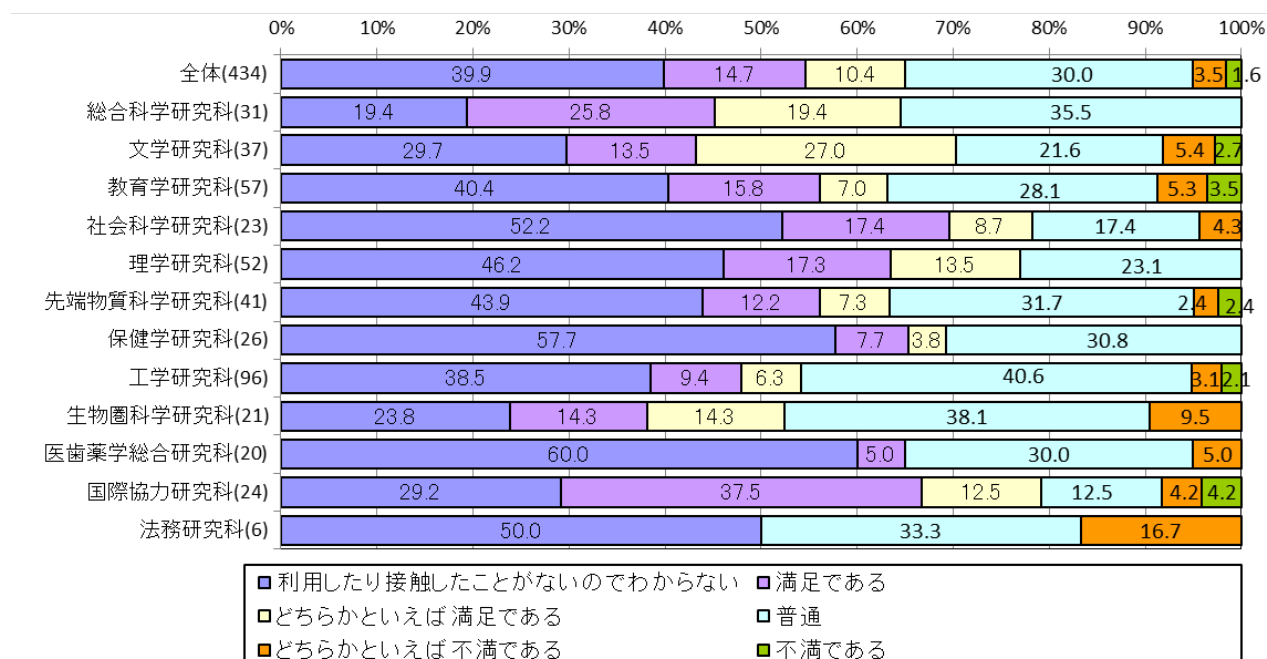
25 学生プラザの学生支援部門の対応

全体として 60%程度（グラフ 1）が利用しているが、そのうち（グラフ 2）「満足である」「どちらかといえば満足である」が 41.7%であり「どちらかといえば不満」「不満である」は 8.4%である。

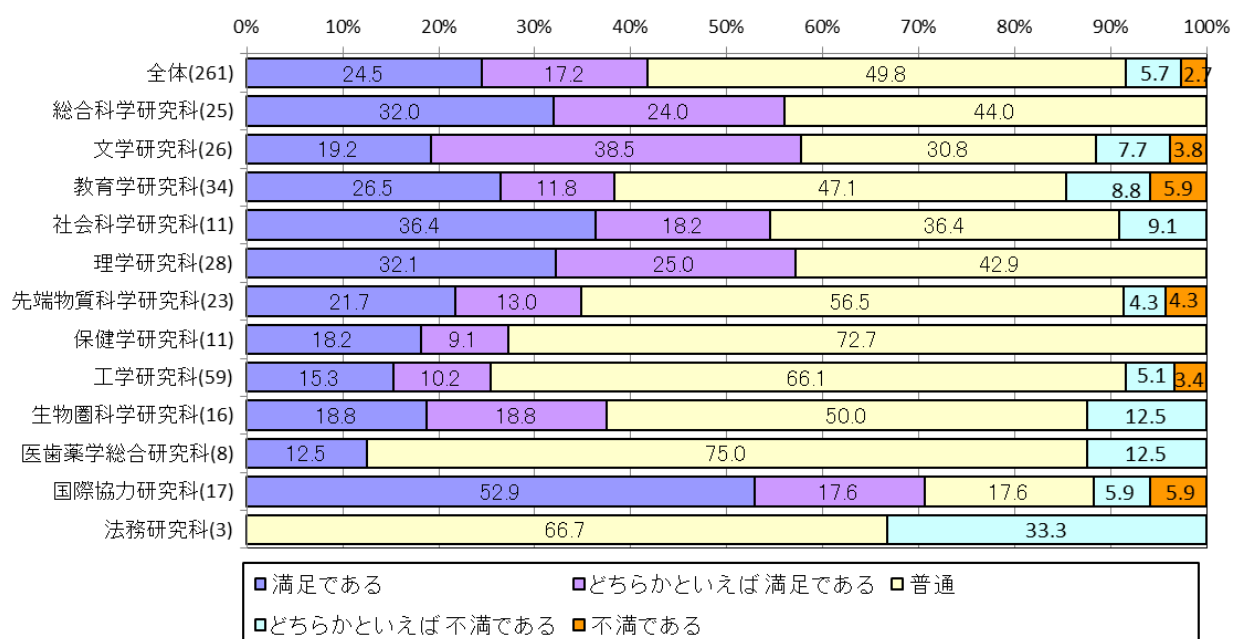
研究科別では、利用者数が少ない研究科もあって、その評価が極端に大きく異なっており、分析はできない。

問 38 学生プラザの学生支援部門の対応について、印象や満足度を教えてください。

* グラフ 1（利用したことがない者を含む）



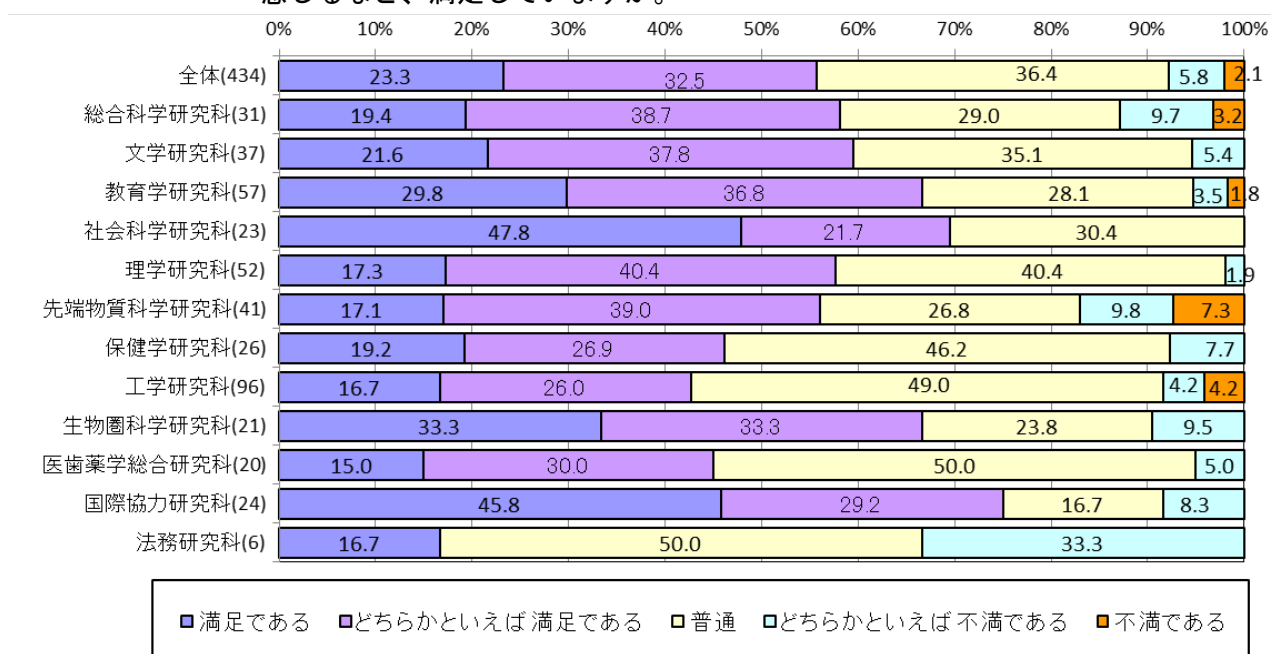
* グラフ 2（利用したことがある者のみ）



26 本学での教育・学習、学生生活などの全体的な満足度

全体として 55.8%が「満足である」「どちらかといえば満足である」であり、不満を感じているのは 8%程度である。研究科別では「満足である」「どちらかといえば満足である」が 40%程度から 70%程度と差はあるが、不満とを感じる学生については、どの研究科も 10%以内である。なお、法務研究科については、回答数が 6 であるので評価はできない。

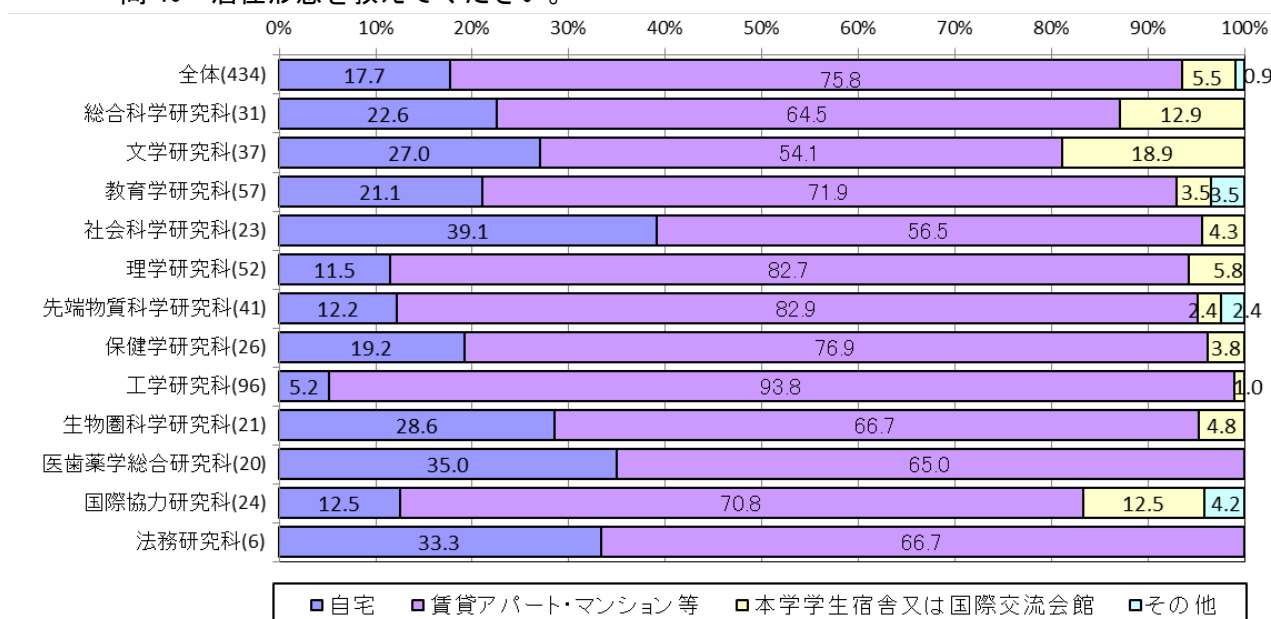
問 39 本学での教育・学習、学生生活などに関して、全体として「良い」、「楽しい」と感じるなど、満足していますか。



27 居住形態

全体として 75.8%がアパート・マンションであり、自宅は 18%程度である。ただし、広島市内にある社会科学研究科・医歯薬学総合研究科や法務研究科については、自宅からの通学者が 30%を超えている。

問 40 居住形態を教えてください。



28 通学方法

全体として、自転車の利用が一番多いが、それに次いで自動車を利用している学生が多い。特に理学研究科や先端物質科学研究科については半数近くが自動車を利用している。

問 41 通学方法を教えてください。(複数回答可)

